本文

官報
第七千四百十三號
明治四十一年三月十六日　月曜日
印刷局

○省令

遞信省令第十二號
明治二十五年一月勅令第六號第二條ニ據リ各一等郵便局ヲシテ其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表セシム但シ國ヨリ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テ其ノ訴ヲ受理スヘキ裁判所カ當該一等郵便局ノ管轄區域外ニ在ルトキ又ハ同一人ニ對シ提起スル訴訟ニシテ二以上ノ一等郵便局ノ司掌事務ニ關スルトキハ此ノ限ニ在ラス

附　則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治二十五年一月遞信省令第三號ハ之ヲ廢止ス
明治四十一年三月十六日　遞信大臣　原敬

○訓令

陸軍省訓令第八號　陸軍一般
明治四十年度當省所管歳入歳出科目表中左記ノ通增設ス
明治四十一年三月十六日　陸軍大臣　子爵寺内正毅
歳出臨時部　△印増設

款	項	目	節
△末位ニ韓國派遣部隊費			
	△韓國派遣部隊費		
		△人件費	
			△俸給諸給
			△傭給
			△旅費
		△物件費	
			△馬匹費
			△兵器費
			△被服費
			△糧秣費
			△需品費
			△營造費
			△郵便電信費
			△運搬費
			△病傷費
			△雜費
		△機密費	

○告示

文部省告示第八十五號　東京府立工藝學校
右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス
但シ認定ノ效力ハ撰科ニ及ハス
明治四十一年三月十六日　文部大臣　男爵牧野伸顯

文部省告示第八十六號　宮城縣立水産學校
右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス
明治四十一年三月十六日　文部大臣　男爵牧野伸顯

文部省告示第八十七號
宮城縣牡鹿郡石卷町ニ設置セル宮城縣郡立牡鹿水産學校ヲ明治四十一年三月三十一日限リ廢止ノ件認可セリ
明治四十一年三月十六日　文部大臣　男爵牧野伸顯

農商務省告示第三十四號
左記專用漁業權ヲ免許漁業原簿ニ登錄セリ
明治四十一年三月十六日　農商務大臣　松岡康毅

第7413号　本文

第7413号 本文

免許番號	免許年月日	漁場ノ位置	漁業ノ種類及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期	免許期間	條件又ハ制限ノ事項	漁業權者又ハ代表者ノ氏名若ハ名稱及住所
四八〇	明治四十一年三月十六日	長崎縣北松浦郡生月村ノ北舘ヨリ一部浦、鯨島ヲ經テ鐵内ニ至ル間ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡生月村大字生月 生月漁業組合
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至八月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四八一	同	長崎縣北松浦郡津吉村大字古田西部ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡津吉村大字古田 古田漁業組合
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至八月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四八二	同	長崎縣北松浦郡中津良村ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡中津良村 中津良村漁業組合
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至八月三十一日			
			鹿尾菜漁業	鹿尾菜	自九月一日至翌年五月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四八三	同	長崎縣北松浦郡御厨村ノ新御厨波止ノ元ヨリ星鹿村字牢田、田伍、下田、崎ノ北、久保ノ各免ヲ經テ御厨村佐志村界ノ太郎川口ニ至ル間ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡御厨村 代表者 御厨村漁業組合
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四八四	同	長崎縣北松浦郡星鹿村伊豆島ノ地先	肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡御厨村 代表者 御厨村漁業組合
四八五	同	長崎縣北松浦郡星鹿村青島鷹ノ尻ヨリ西海岸ヲ經テ松島新網代ニ至ル間ノ地先	肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡御厨村 代表者 御厨村漁業組合
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
四八六	同	長崎縣北松浦郡津吉村大字前津吉下枯木島ノ地先	石花菜漁業	石花菜	自三月一日至八月三十一日	二十箇年		長崎縣北松浦郡津吉村大字前津吉 前津吉漁業組合
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四八七	同	長崎縣北松浦郡津吉村大字前津吉十ケ尻鼻ヨリ坊主瀬ニ至ル間ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡津吉村大字前津吉 前津吉漁業組合
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至八月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四八八	同	長崎縣北松浦郡平戸村ノ鼻ッラ以東ノ地先	鰮卷網漁業	鰮	自九月一日至十一月三十日	二十箇年	一、既ニ免許ヲ受ケタル鰮漁業ヲ妨クヘカラス 二、既ニ免許ヲ受ケタル鮪大敷網及鰤建網ノ敷設中其ノ保護區域内ニ於テ漁獲ノ目的タル魚ノ通路ヲ遮斷シ若ハ散逸セシムヘカラス 三、既ニ免許ヲ受ケタル鰮敷網ノ出漁中其ノ保護區域内ニ於テ鰮ノ通路ヲ遮斷シ若ハ其ノ鰮ヲ散逸セシメ又ハ其ノ網ノ使用ヲ妨クヘカラス 四、既ニ免許ヲ受ケタル鰮船曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス	長崎縣北松浦郡平戸村大字平戸 平戸村東部漁業組合
			鯖卷網漁業	鯖	自八月一日至十月三十一日			
			磯建網漁業	龍蝦、磯魚	自一月一日至十二月三十一日			
			鮑漁業	鮑	自一月一日至十二月三十一日			
			板屋介漁業	板屋介	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
			鹿尾菜漁業	鹿尾菜	自九月一日至翌年五月三十一日			
四八九	同	長崎縣北松浦郡志々伎村ノ地先	笹葉魚曳網漁業	笹葉魚	自二月一日至五月三十一日	二十箇年	一、海蘿、石花菜、和布、搗布、肥料藻ノ五種漁業ノ專用區域ハ割瀨ノ基點ヨリ片島ノ見通線（百四十一度三十分）以南西ニ限定ス 二、既ニ免許ヲ受ケタル鰮船曳網及紆船曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス	長崎縣北松浦郡志々伎村 志々伎村漁業組合
			磯建網漁業	龍蝦、磯魚	自一月一日至十二月三十一日			
			鮑漁業	鮑	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至十月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四九〇	同	長崎縣北松浦郡福島村ノ喜内瀬、里原、鍋串、土谷ノ五ケ免ノ地先	磯建網漁業	磯魚	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		長崎縣北松浦郡福島村 鍋串浦漁業組合
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			眞珠介漁業	眞珠介	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			

免許番號	免許年月日	漁場ノ位置	漁業ノ種類及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期	免許期間	條件又ハ制限ノ事項	漁業權者又ハ代表者ノ氏名若ハ名稱及住所
四九一	同	長崎縣北松浦郡福島村ノ端、鹽濱、淺谷ノ三ケ免ノ地先	磯建網漁業	磯魚	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		長崎縣北松浦郡福島村 鹽濱浦漁業組合
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			眞珠介漁業	眞珠介	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四九二	同	長崎縣北松浦郡津吉村ノ坊主瀬ヨリ志々伎村ノ割瀨ニ至ル間ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡津吉村大字古田 古田漁業組合
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至八月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四九三	同	長崎縣北松浦郡星鹿村伊豆島ノ地先	和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日	二十箇年		長崎縣北松浦郡星鹿村 青島漁業組合
四九四	同	長崎縣北松浦郡星鹿村青島ノ鷹尻ヨリ東海岸ヲ經テ松島新網代ニ至ル間ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡星鹿村 青島漁業組合
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
四九五	同	長崎縣北松浦郡星鹿村青島ノ鷹尻ヨリ西海岸ヲ經テ松島新網代ニ至ル間ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡星鹿村 青島漁業組合
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
四九六	同	長崎縣北松浦郡星鹿村ノ一瀨ノ地先	肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡御厨村 代表者 御厨村漁業組合
四九七	同	長崎縣北松浦郡星鹿村ノ一瀨ノ地先	和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日	二十箇年		長崎縣北松浦郡星鹿村 青島漁業組合
四九八	同	長崎縣北松浦郡星鹿村魚固島ノ地先	肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日	二十箇年		長崎縣北松浦郡御厨村 代表者 御厨村漁業組合
四九九	同	長崎縣北松浦郡星鹿村魚固島ノ地先	和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日	二十箇年		長崎縣北松浦郡星鹿村 青島漁業組合
五〇〇	同	長崎縣西彼杵郡長與村ノ地先	繰網漁業（一名まかせ網）	鯛、鯖、はだら	自九月一日至翌年四月三十日	二十箇年	海鼠漁業ノ專用區域ハ鯨崎ノ拒石基點ヨリ二十七度ノ線以西ニ限定ス	長崎縣西彼杵郡長與村 西彼杵郡長與村漁業組合
			鯛關刺網漁業	鯛	自十月一日至翌年四月三十日			
			眞珠介漁業	眞珠介	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
五〇一	同	長崎縣西彼杵郡時津村ノ地先	雜魚船曳網漁業	鯵、鯖、魣、鯔	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年	一、既ニ免許ヲ受ケタル壺網ノ敷設中其ノ網ノ前面網ヨリ百間以内ニ於テ漁獲ノ目的タル鯖、海鯽、魣ノ通路ヲ遮斷シ若ハ散逸セシムヘカラス	長崎縣西彼杵郡時津村 西彼杵郡時津村漁業組合
			烏賊曳網漁業	烏賊、水烏賊	自四月一日至九月三十日			
			鰛歩行曳網漁業	鰛	自四月一日至九月三十日			
			鯛關刺網漁業	鯛	自十月一日至翌年四月三十日			
			眞珠介漁業	眞珠介	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
五〇二	同	長崎縣西彼杵郡村松村ノ地先	雜魚船曳網漁業	鯵、鯖、魣、鯔	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡村松村 西彼杵郡村松村漁業組合
			底曳網漁業	鯽、めばる、鯒、海	自一月一日至十二月三十一日			
			眞珠介漁業	眞珠介	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
五〇三	同	長崎縣西彼杵郡江島村ノ小立島以外ノ地先	磯建網漁業	龍蝦、磯魚	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡江島村 西彼杵郡江島村漁業組合
			鮑漁業	鮑	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至八月三十一日			
			鹿尾菜漁業	鹿尾菜	自九月一日至翌年五月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
			鯛船曳網漁業	鯛	自三月一日至六月三十日			
五〇四	同	長崎縣西彼杵郡鵜岳村ノ地先	鯛船曳網漁業	鯛	自三月一日至六月三十日	二十箇年	一、既ニ免許ヲ受ケタル鰮地曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス	長崎縣西彼杵郡鵜岳村 西彼杵郡鵜岳村漁業組合
			雜魚船曳網漁業	海鯽、鯖、鰡、つなし、はだら	自一月一日至十二月三十一日			
			眞珠介漁業	眞珠介	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
五〇五	同	長崎縣西彼杵郡伊木力村ノ地先	雜魚船曳網漁業	鰡、鯵、鯖、鰤	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡伊木力村 西彼杵郡伊木力村漁業組合
			繰網漁業（一名まかせ網）	鯛、鯖、はだら	自十月一日至翌年四月三十日			
			鯛關刺網漁業	鯛	自十月一日至翌年四月三十日			
			鯵魣刺網漁業	鯵、魣	自五月一日至十月三十一日			
			白魚四手網漁業	白魚	自一月一日至三月三十一日			
			鰻搔漁業	鰻	自四月一日至十月三十一日			

第7413号 本文

			眞珠介漁業	眞珠介	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
五〇六	同	長崎縣西彼杵郡面高村ノ沖合白瀨ノ地先	海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡面高村 西彼杵郡面高村漁業組合
			鹿尾菜漁業	鹿尾菜	自九月一日至翌年五月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
五〇七	同	長崎縣西彼杵郡小榊村神ノ島ノ地先（平瀨網代）	餌刺網漁業	餌	自一月一日至十二月三十一日	十九箇年		長崎縣西彼杵郡小榊村百二十九番戸 代表者 吉村吉造
五〇八	同	長崎縣西彼杵郡小榊村島ノ地先（餅岩網代）	餌刺網漁業	餌	自一月一日至十二月三十一日	十九箇年		長崎縣西彼杵郡小榊村四十三番戸 代表者 宮崎幾平
五〇九	同	長崎縣西彼杵郡松島村ノ地先	磯建網漁業	龍蝦、磯魚	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡松島村 西彼杵郡松島村漁業組合
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			海栗漁業	海栗	自一月一日至十二月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
			鹿尾菜漁業	鹿尾菜	自九月一日至翌年五月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			搗布漁業	搗布	自一月一日至十二月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
五一〇	同	長崎縣西彼杵郡面高村ノ地先	江切網漁業	鱰	自三月一日至四月三十日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡面高村 西彼杵郡面高村漁業組合
			磯建網漁業	磯魚、龍蝦	自一月一日至十二月三十一日			
			鮑漁業	鮑	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
			鹿尾菜漁業	鹿尾菜	自九月一日至翌年五月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
五一一	同	長崎縣西彼杵郡七釜村ノ地先	磯建網漁業	龍蝦、磯魚	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡七釜村 七釜村漁業組合
			江切網漁業	鯔、海鯽、鱸、鰺	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
五一二	同	長崎縣西彼杵郡瀨川村ノ地先	鰮刺網漁業	鰮	自十一月一日至翌年四月三十日	二十箇年	一、既ニ免許ヲ受ケタル鰮地曳網、鰮揚繰網、鰮曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス	長崎縣西彼杵郡瀨川村 瀨川村漁業組合
			磯建網漁業	龍蝦、磯魚	自一月一日至十二月三十一日			
			鯛底曳網漁業	小鯛、鰺、ひーらげ	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
五一三	同	長崎縣西彼杵郡神浦村ノ地先	鰆敷網漁業	鰆	自四月一日至十二月三十一日	二十箇年	一、既ニ免許ヲ受ケタル大敷網ノ敷設中ニ於テハ其ノ保護區域内ニ於テ魚類ノ通路ヲ遮斷シ若ハ散逸セシムヘカラス	長崎縣西彼杵郡神浦村 西彼杵郡神浦村漁業組合
			餌刺網漁業	餌	自一月一日至十二月三十一日			
			鰺建網漁業	鰺	自四月一日至十二月三十一日			
			磯建網漁業	龍蝦、磯魚	自一月一日至十二月三十一日			
			鮑漁業	鮑	自一月一日至十二月三十一日			
			板屋介漁業	板屋介	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
			鹿尾菜漁業	鹿尾菜	自九月一日至翌年五月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
五一四	同	長崎縣西彼杵郡崎戸村ノ地先	水烏賊曳網漁業	水烏賊	自三月一日至七月三十一日	二十箇年	一、既ニ免許ヲ受ケタル鰤建網ノ敷設中ニ於テハ其ノ保護區域内ニ於テ魚類ノ通路ヲ遮斷シ若ハ散逸セシムヘカラス	長崎縣西彼杵郡崎戸村 西彼杵郡崎戸村漁業組合
			磯建網漁業	龍蝦、磯魚	自一月一日至十二月三十一日			
			鮑漁業	鮑	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			海栗漁業	海栗	自一月一日至十二月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自二月一日至六月三十日			
			和布漁業	和布	自二月一日至七月三十一日			
			肥料藻漁業	肥料藻	自十一月一日至翌年六月三十日			
五一五	同	秋田縣南秋田郡大久保、飯田川、下井河三箇村ノ地先	氷下曳網漁業	鯔、鮒	自一月一日至三月二十日	二十箇年		秋田縣南秋田郡大久保村 代表者
五一六	同	秋田縣山本郡鹿渡村地先（八郎潟）	氷下曳網漁業	鯔、鮒、公魚	自一月一日至三月二十日	二十箇年		秋田縣山本郡鹿渡村
五一七	同	秋田縣南秋田郡西村大字野石地先（八郎潟）	氷下曳網漁業	鯔、鮒	自一月一日至三月二十日	二十箇年		秋田縣南秋田郡西村大字野石 野石漁業組合

五一八	同	鹿兒島縣鹿兒島市ノ地先	しらかい漁業	しらかい	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		鹿兒島縣鹿兒島市 鹿兒島市漁業組合
			蛤漁業	蛤	自一月一日至十二月三十一日			
			蜊漁業	蜊	自一月一日至十二月三十一日			
			汐吹介漁業	汐吹介	自一月一日至十二月三十一日			
			島介漁業	島介	自一月一日至十二月三十一日			
			唄漁業	唄	自一月一日至十二月三十一日			
五一九	同	沖繩縣島尻郡兼城間切ノ地先	廻高網漁業	むれ、志ゞ、鰺（方言がつん）、平鰺（方言がーら）、鰤、たまん、ちのまん、とかざー、がくがく、なかゆー、やまとみづん	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年	鰹釣漁業ノ餌料採取ノ爲するゝ抄網以外ノ漁具漁法ヲ以テ鰺（方言するこ）ヲ捕獲スル者アルモ之ヲ拒ムヘカラス	沖繩縣島尻郡兼城間切糸滿村 糸滿浦漁業組合
			磯魚白網廻網漁業	たまん、くちなぎ、かたか志、いゑー、いらぶち、志ー、るいゆ	自一月一日至十二月三十一日			
			さゞあ繰網漁業	やまとみづん、鰆、磯だつ、ふーるやー、さゞあまー	自一月一日至十二月三十一日			
			鰕舷曳網漁業	鰕、いゑー	自七月一日至翌年三月三十一日			
			建干網漁業	鯔、海鯽、鱚、やまとびー、いゑー、あまゆー、かたか志、くちなぎ、くちく	自一月一日至十二月三十一日			
			ぐるくまー刺網漁業	ぐるくまー、平鰺（方言がーら）	自十一月一日至翌年五月三十一日			
			磯魚刺網漁業（方言てんさーん網、ひさ網、夜網、高網ヲ含ム）	くちなぎ、いらぶち、たまん、ちのまん、かたか志、かざー、あかな、志ちゆー、あかいゑー、やまとばー	自一月一日至十二月三十一日			
			烏賊保網漁業（方言いざい網）	烏賊（方言志ぶ）、赤烏賊	自八月一日至翌年四月三十日			
			志ゆく敷網漁業	志ゆく、大目魚	自五月一日至九月三十日			
			するゝ抄網漁業	するゝ、大目魚をくがー	自一月一日至十二月三十一日			
			ひち抄網漁業	ひち	自一月一日至十二月三十一日			
			手篭漁業	いゑー、いらぶち、めはる、志ーるいゆ、たまん、ぶちゆー、とかざー、くちなぎ、ちのまん	自一月一日至十二月三十一日			
			儒艮漁業	儒艮	自一月一日至十二月三十一日			
			綠蠵龜漁業	綠蠵龜	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			高尻貝漁業	高尻貝	自一月一日至十二月三十一日			
			夜光貝漁業	夜光貝	自一月一日至十二月三十一日			
			眞珠介漁業	眞珠介	自一月一日至十二月三十一日			
			蝶介漁業	蝶介	自一月一日至十二月三十一日			
			海人草漁業	海人草	自一月一日至十二月三十一日			
五二〇	同	岩手縣氣仙郡小友村字只出濱地先	鮑漁業	鮑	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		岩手縣氣仙郡小友村 小友村漁業組合
			貽介漁業	貽介（方言周利）	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			金海鼠漁業	金海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			石勃卒漁業	石勃卒	自五月一日至十二月三十一日			
			牡蠣漁業	牡蠣	自一月一日至十二月三十一日			
			細布漁業	細布	自六月一日至九月三十日			
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至七月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自一月一日至六月三十日			
			鹿尾菜漁業	鹿尾菜	自二月一日至六月三十日			
			鹿角菜漁業	鹿角菜	自三月一日至七月三十一日			
			和布漁業	和布	自二月一日至六月三十日			
			松藻漁業	松藻	自二月一日至六月三十日			
			海苔漁業	海苔	自一月一日至四月三十日			
			蛸いさり漁業	蛸	自九月一日至十二月三十一日			
五二一	同	岩手縣氣仙郡氣仙村地先	鮑漁業	鮑	自一月一日至十二月三十一日	二十箇年		岩手縣氣仙郡氣仙村 氣仙村漁業組合
			貽介漁業	貽介（方言周利）	自一月一日至十二月三十一日			
			海鼠漁業	海鼠	自一月一日至十二月三十一日			
			牡蠣漁業	牡蠣	自一月一日至十二月三十一日			
			北寄介漁業	北寄介	自一月一日至十二月三十一日			
			まさみち介漁業	まさみち介	自一月一日至十二月三十一日			
			石勃卒漁業	石勃卒	自五月一日至十二月三十一日			
			昆布漁業	昆布	自六月一日至九月三十日			
			細布漁業	細布	自六月一日至九月三十日			
			石花菜漁業	石花菜	自三月一日至七月三十一日			
			海蘿漁業	海蘿	自一月一日至六月三十日			
			鹿角菜漁業	鹿角菜	自三月一日至七月三十一日			

		和布漁業和布	自二月三十日 至三月三十日	
		松藻漁業松藻	自二月三十日 至三月三十日	
		海苔漁業海苔	自二月三十日 至三月三十日	
		蜘漁業蜘	自二月三十日 至三月三十日	
		蜷いさり漁業蜷	自二月三十日 至三月三十日	
同	長崎縣西彼杵郡黒崎村ノ内中尾、塔ノ尾、鹿尾染漁業鹿尾染	北寄介漁業北寄介	自九月三十一日 至三月三十一日	二十箇年
		さざみち介漁業さざみち介	自九月三十一日 至三月三十一日	
		海鼠漁業海鼠	自二月三十一日 至三月三十一日	
		牡蠣漁業牡蠣	自二月三十一日 至三月三十一日	
		昆布漁業昆布	自二月三十一日 至三月三十一日	
		蜷いさり漁業蜷	自九月三十一日 至三月三十一日	
同	長崎縣西彼杵郡黒崎村ノ内中尾、塔ノ尾、鹿尾染漁業鹿尾染	鮑漁業鮑	自二月三十一日 至三月三十一日	二十箇年
		海鼠漁業海鼠	自二月三十一日 至三月三十一日	
		金海鼠漁業金海鼠	自二月三十一日 至三月三十一日	
		北寄介漁業北寄介	自二月三十一日 至三月三十一日	
		牡蠣漁業牡蠣	自二月三十一日 至三月三十一日	
		昆布漁業昆布	自九月三十一日 至三月三十一日	
		蜷いさり漁業蜷	自二月三十一日 至三月三十一日	
同	長崎縣西彼杵郡黒崎村ノ内中尾、塔ノ尾、鹿尾染漁業鹿尾染	鮑漁業鮑	自二月三十一日 至三月三十一日	二十箇年
		海鼠漁業海鼠	自二月三十一日 至三月三十一日	
		金海鼠漁業金海鼠	自二月三十一日 至三月三十一日	
		北寄介漁業北寄介	自二月三十一日 至三月三十一日	
		牡蠣漁業牡蠣	自二月三十一日 至三月三十一日	
		昆布漁業昆布	自九月三十一日 至三月三十一日	
		蜷いさり漁業蜷	自二月三十一日 至三月三十一日	
同	長崎縣西彼杵郡黒崎村ノ内中尾、塔ノ尾、鹿尾染漁業鹿尾染	鮑漁業鮑	自二月三十一日 至三月三十一日	二十箇年
		海鼠漁業海鼠	自二月三十一日 至三月三十一日	
		金海鼠漁業金海鼠	自二月三十一日 至三月三十一日	
		北寄介漁業北寄介	自二月三十一日 至三月三十一日	
		牡蠣漁業牡蠣	自二月三十一日 至三月三十一日	
		昆布漁業昆布	自九月三十一日 至三月三十一日	
		蜷いさり漁業蜷	自二月三十一日 至三月三十一日	

農商務省告示第三十五號

左記專用漁業權ヲ免許漁業原簿ニ登錄セリ

明治四十一年三月十六日

農商務大臣　松岡康毅

免許番號	免許年月日	漁場ノ位置	漁業ノ種類及名稱	漁業ノ種類	漁獲物	漁業時期	免許期間	條件又ハ制限	漁業權者ノ名稱及住所
五二九	明治四十一年三月九日	長崎縣西彼杵郡黒崎村大島鄉ノ地先	海苔漁業海苔	第一種	海苔	自十一月一日至三月三十一日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡黒崎村大島鄉漁業組合
			蜷漁業蜷		蜷	自十一月一日至三月三十一日			
			蜷いさり漁業蜷		蜷	自九月三十一日至三月三十一日			
五三〇	同	長崎縣西彼杵郡黒崎村大島鄉ノ地先	鮑漁業鮑	第一種	鮑	自二月三十一日至三月三十一日	二十箇年		長崎縣西彼杵郡黒崎村大島鄉漁業組合
			鹽介漁業鹽介（さざみち介）		鹽介	自二月三十一日至三月三十一日			
			海鼠漁業海鼠		海鼠	自二月三十一日至三月三十一日			
			金海鼠漁業金海鼠		金海鼠	自二月三十一日至三月三十一日			
			牡蠣漁業牡蠣		牡蠣	自二月三十一日至三月三十一日			
			昆布漁業昆布		昆布	自九月三十一日至三月三十一日			
			蜷いさり漁業蜷		蜷	自二月三十一日至三月三十一日			
五三一	同	長崎縣西彼杵郡黒崎村大島鄉ノ地先	細布漁業細布	第一種	石花菜	自二月三十一日至三月三十一日	二十箇年		長崎縣東彼杵郡黒崎村大島鄉漁業組合
			石花菜漁業石花菜		石花菜	自二月三十一日至三月三十一日			
			石勃卒漁業石勃卒		石勃卒	自二月三十一日至三月三十一日			
			牡蠣漁業牡蠣		牡蠣	自二月三十一日至三月三十一日			
			昆布漁業昆布		昆布	自九月三十一日至三月三十一日			
			蜷いさり漁業蜷		蜷	自二月三十一日至三月三十一日			
五三二	同	長崎縣西彼杵郡黒崎村大島鄉ノ地先	海鼠漁業海鼠	第一種	海鼠	自二月三十一日至三月三十一日	二十箇年		長崎縣東彼杵郡黒崎村大島鄉漁業組合
			金海鼠漁業金海鼠		金海鼠	自二月三十一日至三月三十一日			
			鹿角菜漁業鹿角菜		鹿角菜	自二月三十一日至三月三十一日			
			鹿尾菜漁業鹿尾菜		鹿尾菜	自二月三十一日至三月三十一日			
			和布漁業和布		和布	自二月三十一日至三月三十一日			
			松藻漁業松藻		松藻	自二月三十一日至三月三十一日			
			海苔漁業海苔		海苔	自二月三十一日至三月三十一日			
			蜷いさり漁業蜷		蜷	自二月三十一日至三月三十一日			
五三三	同	長崎縣東彼杵郡小友村ノ内小友村ノ地先	鮑漁業鮑	第一種	鮑	自二月三十一日至三月三十一日	二十箇年		長崎縣東彼杵郡小友村小友村漁業組合
			海鼠漁業海鼠		海鼠	自二月三十一日至三月三十一日			
			海栗漁業海栗		海栗	自二月三十一日至三月三十一日			
			鹿尾菜漁業鹿尾菜		鹿尾菜	自二月三十一日至三月三十一日			
			和布漁業和布		和布	自二月三十一日至三月三十一日			
			肥料藻漁業肥料藻		肥料藻	自九月三十一日至三月三十一日			
五三四	同	長崎縣東彼杵郡小友村ノ内小友村ノ地先	鮑漁業鮑	第一種	鮑	自二月三十一日至三月三十一日	二十箇年		長崎縣東彼杵郡小友村小友村漁業組合
			海鼠漁業海鼠		海鼠	自二月三十一日至三月三十一日			
			海栗漁業海栗		海栗	自二月三十一日至三月三十一日			

農商務省告示第三十六號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年三月十六日

國郡　村字　地番　面積

美濃　山縣　梅原　中村　一五四四ノ三　六歩

農商務大臣　松岡康毅

○辭令

陸軍歩兵大尉　檫村　新藏
陸軍歩兵大尉　服部　賢吉
陸軍一等軍醫　高橋　正知
陸軍一等軍醫　幸野重太郎
陸軍憲兵中尉　田口　久廣
陸軍騎兵中尉　大戸　毬二
陸軍騎兵中尉　南雲純太郎
陸軍騎兵中尉　高村　好雄
陸軍砲兵中尉　生田　三郎
陸軍砲兵中尉　杉原　太郎
陸軍砲兵中尉　三宅　雄一
陸軍砲兵中尉　安藤伊三郎
陸軍砲兵中尉　上田　幸家
陸軍砲兵中尉　木下　俊信
陸軍砲兵中尉　高橋　昌一
陸軍砲兵中尉　大橋千代吉
陸軍砲兵中尉　田内　直規
陸軍砲兵中尉　原　常三郎
陸軍砲兵中尉　澁谷　七内
陸軍砲兵中尉　河野　祐壽
陸軍砲兵中尉　松澗　爲秀
陸軍砲兵中尉　田中　番
陸軍輜重兵中尉　梅住榮太郎
陸軍輜重兵中尉　外吉　岡
陸軍輜重兵中尉　靜一　木村
陸軍輜重兵中尉　福松　高城
陸軍輜重兵中尉　物太郎　簸崎
陸軍輜重兵中尉　小島　時久
陸軍輜重兵中尉　善也　土非
陸軍二等藥劑官　淺井文太郎　魚住
陸軍二等藥劑官　松清吉　三木
陸軍二等藥劑官　三郎　富田
陸軍歩兵中尉　岡田鴻三郎
陸軍歩兵大尉　高橋　正知
陸軍一等軍醫　幸野重太郎
陸軍憲兵中尉　田口　久廣
陸軍騎兵中尉　大戸　毬二
陸軍騎兵中尉　南雲純太郎
陸軍騎兵中尉　高村　好雄
陸軍砲兵中尉　生田　三郎
陸軍砲兵中尉　杉原　太郎
陸軍砲兵中尉　三宅　雄一
陸軍砲兵中尉　安藤伊三郎
陸軍砲兵中尉　上田　幸家
陸軍砲兵中尉　木下　俊信
陸軍砲兵中尉　高橋　昌一
陸軍砲兵中尉　大橋千代吉
陸軍砲兵中尉　田内　直規
陸軍砲兵中尉　原　常三郎
陸軍砲兵中尉　澁谷　七内
陸軍砲兵中尉　河野　祐壽
陸軍砲兵中尉　松澗　爲秀
陸軍砲兵中尉　田中　番
陸軍輜重兵中尉　梅住榮太郎
陸軍輜重兵中尉　外吉　岡
陸軍輜重兵中尉　靜一　木村
陸軍輜重兵中尉　福松　高城
陸軍輜重兵中尉　物太郎　簸崎
陸軍輜重兵中尉　小島　時久
陸軍輜重兵中尉　善也　土非
陸軍二等藥劑官　淺井文太郎　魚住
陸軍二等藥劑官　松清吉　三木
陸軍二等藥劑官　三郎　富田

（各通）

賜一等給（三月十　陸軍省）

東京帝國大學工科大學教授工學博士　俵　國一

學術實地指導ノ爲福島縣福岡ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

東京帝國大學工科大學助教授　佐川榮次郎

學術實地指導ノ爲埼玉群馬栃木ノ三縣下ヘ出張ヲ命ス

東京帝國大學理科大學教授工學博士　吉川　浩

學術實地指導ノ爲栃木縣下ヘ出張ヲ命ス

東京帝國大學理科大學教授理學博士　横山又次郎

學術實地指導ノ爲茨城縣下ヘ出張ヲ命ス

東京帝國大學農科大學助教授　勝水鐵五郎

學術實地指導ノ爲靜岡愛知ノ兩縣下ヘ出張ヲ命ス（以上三月十　東京帝國大學）

農事試驗場技師　岡田鴻三郎

第六回奧羽六縣聯合共進會審査長トシテ福島縣ニ出張ヲ命ス（三月十　農商務省）

通信局電氣試驗所勤務ヲ命ス　遞信技師　鯨非恆太郎

帝國鐵道廳技師　辻　又一

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス（以上三月十　遞信省）

○宮廷錄事

○常宮周宮御歸京　昌子內親王、房子內親王兩殿下ハ今十六日午前九時九分鎌倉發汽車ニテ同十時五十一分新橋御著車御歸京アラセラルヘキ旨御治定相成リタリ

許可 7413 号

○彙報

○官廳事項

○兵庫縣下武庫郡御影村ヲ同縣同郡同村大字御影町ト改稱ス（三月十日）

○官吏進退（三月十二日）

○官吏死亡（三月十二日）

○官吏辭令（三月十二日）

○官吏轉官（三月十二日）

○官吏免職（三月十二日）

○官吏休職（三月十二日）

○官吏復職（三月十二日）

○官吏依願免本官（三月十二日）

○官吏轉任（三月十二日）

○官吏轉官轉任（三月十二日）

○官吏轉官轉任免職（三月十二日）

○官吏轉官轉任休職（三月十二日）

○官吏轉官轉任復職（三月十二日）

○官吏轉官轉任依願免本官（三月十二日）

○官吏死亡（三月十三日）

○官吏辭令（三月十三日）

○官吏轉官（三月十三日）

○官吏轉任（三月十三日）

○官吏轉官轉任（三月十三日）

○官吏免職（三月十三日）

○官吏休職（三月十三日）

○官吏復職（三月十三日）

○官吏依願免本官（三月十三日）

○官吏轉官轉任（三月十三日）

○官吏轉官轉任免職（三月十三日）

○官吏轉官轉任休職（三月十三日）

○官吏轉官轉任復職（三月十三日）

○官吏轉官轉任依願免本官（三月十三日）

○官吏死亡（三月十四日）

○官吏辭令（三月十四日）

○官吏轉官（三月十四日）

○官吏轉任（三月十四日）

○官吏轉官轉任（三月十四日）

○官吏免職（三月十四日）

○官吏休職（三月十四日）

○官吏復職（三月十四日）

○官吏依願免本官（三月十四日）

○官吏轉官轉任（三月十四日）

○官吏轉官轉任免職（三月十四日）

○官吏轉官轉任休職（三月十四日）

○官吏轉官轉任復職（三月十四日）

○官吏轉官轉任依願免本官（三月十四日）

○官吏死亡（三月十五日）

○官吏辭令（三月十五日）

○官吏轉官（三月十五日）

○官吏轉任（三月十五日）

○官吏轉官轉任（三月十五日）

○官吏免職（三月十五日）

○官吏休職（三月十五日）

○官吏復職（三月十五日）

○官吏依願免本官（三月十五日）

○官吏轉官轉任（三月十五日）

○官吏轉官轉任免職（三月十五日）

○官吏轉官轉任休職（三月十五日）

○官吏轉官轉任復職（三月十五日）

○官吏轉官轉任依願免本官（三月十五日）

○官吏死亡（三月十六日）

○官吏辭令（三月十六日）

○官吏轉官（三月十六日）

○官吏轉任（三月十六日）

○官吏轉官轉任（三月十六日）

○官吏免職（三月十六日）

○官吏休職（三月十六日）

○官吏復職（三月十六日）

○官吏依願免本官（三月十六日）

○官吏轉官轉任（三月十六日）

○官吏轉官轉任免職（三月十六日）

○官吏轉官轉任休職（三月十六日）

○官吏轉官轉任復職（三月十六日）

○官吏轉官轉任依願免本官（三月十六日）

○陸海軍

○後備役編入

○明治四十年ニ於テ生シタル所在不明ノ徴兵

第7413号　本文

同郡加住村宮下九百五十四番地	栗島	廣吉	二〇、二、四
荏原郡大崎村下大崎百九十番地	水津	仙次郎	二〇、一一、一〇
同郡碑衾村衾五百四十三番地	齋藤	銀次郎	二〇、二、四
西多摩郡氷川村日原二百九十九番地	增田	千之助	二〇、一、四
同郡霞村根ケ布五百五十九番地	吉村	長太郎	一九、三、九
同郡西多摩村五ノ神三十七番地	櫻澤	重吉	二〇、一〇、一
同郡青梅町青梅二百九十一番地	持田	金太郎	二〇、五、一四
北多摩郡調布町下石原百六十五番地	田中	利八	二〇、一、二九
同郡同町下布田二百十七番地	小野	榮次郎	一九、三、二五
同郡田無町二百四十番地	下田	覺藏	二〇、九、八
同郡三鷹村牟禮千八百七十番地	小曳野	角治郎	二〇、九、三
同郡同村新川五百九十九番地	海老澤	秋藏	二〇、一〇、一
南葛飾郡松江村大字東小松川三千九百六十四番地	大野	六次郎	一九、三、二九
豐多摩郡井荻村大字上井草四百二十五番地	小浦	庄藏	二〇、二、一〇
同郡戸塚村大字下戸塚五百八十三番地	川角	寛一	二〇、九、二〇
同郡内藤新宿町大字北裏町二十一番地	土田	藤太郎	二〇、三、九
同郡同町大字南町十五番地	杉浦	安平	一九、三、二〇
同郡同町大字一丁目二十八番地	坂本	勇三	二〇、一一、一九
同郡同町大字一丁目八十二番地	加藤	芳之助	二〇、九、七
同郡同町大字北裏町十九番地	中村	市松	二〇、八、二九
同郡同町大字同町二十一番地	森谷	喜代松	二〇、八、二五
同郡同町大字南町三番地	榎本	伊之助	二〇、九、七
同郡同町大字同町十二番地	松村	藤松	二〇、一〇、二〇
同郡淀橋町大字柏木二百九十五番地	菊地	伊三郎	二〇、一〇、三
同郡千駄ケ谷町大字千駄ケ谷五百四十六番地	中村	信太郎	二〇、一〇、五
同郡同町大字同九百五十五番地	瀧村	忠藏	二〇、一〇、二〇
同郡千駄ケ谷町大字原宿百五十九番地	吉田	忠宗	二〇、一〇、一七
同郡同町大字穩田八十九番地	石原	市太郎	二〇、四、一九
新島本村七番地	植村	金之助	一九、三、一〇
同島同村七番地植松吉兵衛方	松浦	松太郎	一九、三、三一
下谷區上野西黑門町十五番地	榮瀬	兵造	二〇、八、七
八丈島大賀郷村四十四番戸	佐々木	昇	二〇、六、二四
同島同村	沖山	仁平次	二〇、六、二三
同島末吉村百一番	佐々木	光次	二〇、七、二三
同島同村六十番	淺沼	舜一	二〇、二、五
同島同村	沖山	悅藏	二〇、一一、一八
小笠原島父島大村百十四番地	ハーマン、ゲレー		二〇、七、二三
同島父島扇村字桑ノ木山十番地	三浦	德藏	二〇、三、一七

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
赤城	三、一三	木浦		
朝日	同		横須賀	
武藏	三、一四		美保關	
村雨 朝潮 朝霧 白雲	三、一四		境	吳

○日本赤十字社錄事

有功章授與　日本赤十字社ハ群馬縣牛田平次郎、富山縣稻田林藏ノ篤志ニ對シ上奏勅裁ヲ經テ有功章ヲ授與セリ

特別社員推薦　日本赤十字社ハ左記百六人ノ功勞又ハ篤志ニ對シ特別社員ニ推薦セリ（以上宮内省）

京都府
西川　末次郎
濵津　喜太郎
野村　ナカ
大阪府
矢邊　清兵衛
群馬縣
宮地　梅吉
星野　進
横田　粂太郎
岩崎　平市
小暮　錄郎
田村　京太郎
柳澤　庄平
小板橋　いせ
飯野　吉三郎
上原　茂三郎
羽生田　仁作
新井　春吉
藤谷　波吉
高橋　善十郎
横地　巳之吉
田島　誠太郎
坂本　宇太郎
山口　源太郎
佐俣　文太郎
引間　米吉
櫛淵　浪太郎
横山　辰五郎
鈴木　城作
佐俣　彥三郎
森平　友次
須藤　清七
室田　忠作
丸山　愼八郎
奈佐　金太郎
齋藤　福次
大竹　勝衛
作宮　久太郎
向井　周彌
山口　九十郎
新美　得一
笠原　直雄
星野　勝作
藤井　德太郎
飯塚　安治
布斗　彌
天笠　一郎
橋本　正次郎
岡部　駒次郎
荒牧　孫三郎
小暮　東策
田島　彌四郎
靜岡縣
鈴木　二平
滋賀縣
苗村　喜兵衛
喜多　七右衛門
宮城縣
横山　万平
富山縣
舘　きく
河合　久二
鈴木　長造
中村　武治郎
百谷　義一
笹村　理八
鎌仲　良三
安藤　源次郎
松浦　勝太郎
若林　孝之
佐伯　一郎
堀井　調太郎
中川　國太郎
朝山　豐太郎
森田　茂兵衛
瀨尾　四平
小林　與三兵衛
安念　次郎左衛門
清都　幸次郎
平尾　喜四吾
高廣　欣藏
喜多　養元
津川　恒三郎
浦　傳四郎
佐伯　三郎
藤田　久信
北　六一郎
大谷　隆一
荒木　諒坪
燒田　又七
沼田　彥左衛門
江守　淸二
西島　慶次郎
西島　重直
尾崎　準一郎
小林　粂之助
新藤　孝直
山崎　嘉一郎
四谷　與一
梶川　與八郎
中島　庄官
國吉　孫太郎
西頭　庄平
福井　秀夫
櫻井　正信
黑田　次郎右衛門
櫻木　豐太郎
山口縣
佐原　三郎
青木　忠一
益田　潜
中丸　與一
香川縣
岡内　清太

○學事

○女子高等師範學校規則中改正　女子高等師範學校ニ於テ今般同校規則中左ノ通改正シ來ル四月ヨリ施行ス（文部省）

第三條文科ノ科目中「地理」ノ次ニ「習字」ヲ加フ

第五條技藝科ノ科目中「裁縫及手藝」ヲ「裁縫」「手藝」トス

第十一條文科學科程度國語科中ノ「習字」ヲ削リ「地理」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

習字　楷　行　草　假名

同條技藝科學科程度中「裁縫及手藝」ヲ左ノ二項ニ改ム

裁縫　裁方　縫方　教授法

手藝　編物　刺繡　造花　教授法

第十二條授業時數配當表中改定セルモノ左ノ如シ

文科表中「地理」ノ次欄ニ「習字」ノ欄ヲ設ケ技藝科表中「裁縫及手藝」ノ欄ヲ「裁縫」「手藝」ノ二欄ニ分ツ

（同表中時間ノ變更數科ニ亙ルモ之ヲ略ス）

○金澤醫學專門學校規則中改正　金澤醫學專門學校ニ於テ今般同校規則中左ノ通改正セリ（文部省）

第十五條本文ヲ左ノ如ク改ム

入學志願者ハ入學願書ニ履歷書、修業學校長ノ證明書又ハ試驗檢定合格證書若ハ高等學校入學豫備試驗合格證書、手札形寫眞一葉（最近ノ分）檢定料金三圓相添本校ニ差出スヘシ

同條證明書式中「何中學校長」ヲ「某學校長」ニ改ム

第十六條全文削除

（第十七條以下順次繰上ク）

第十七條ヲ左ノ如ク改ム

既納ノ檢定料ハ一旦收納ノ上ハ何等ノ場合ト雖モ之ヲ返附セス

第四十八條中醫學科卒業證書式竝ニ藥學科卒業證書式ヲ左ノ如ク改ム（書式略ス）

第四十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

在學中品行方正學術優等者ニ卒業ノ際賞品ヲ授與ス

第三十五條中「第三十三條」ヲ「第三十二條」ニ第四十七條中「第三十四條」ヲ「第三十三條」ニ改ム

○產業

○耕地整理施行地調　農商務省ノ調査ニ係ル耕地整理施行箇所、地區及面積等左ノ如シ（昨四十年十一月四日本欄内參看）（農商務省）

耕地整理施行地累年比較

年次	發起認可 箇所	發起認可 總面積（町）	施行認可 箇所	施行認可 總面積（町）
明治三十三年	一七	七三五・〇〇一三	六	二六八・二九〇五
明治三十四年	七一 ×二	三、三〇六・三一〇八 三六・一八一九	五四 ×二	二、一三七・〇一二〇 三六・一八一九
明治三十五年	八八 ×四	五、二九四・四六二三 一一・〇七二一	八六 ×四	五、一七四・二九一三 一一・〇七二一
明治三十六年	一六二 ×七	六、四二八・一一〇四 五四・五二二四	一三三 ×七	五、一四八・一八一九 五四・五二二四
明治三十七年	一七五 ×六	八、二四七・三五一四 七七・九三一五	一五四 ×六	六、八五四・二一〇三 七七・九三一五
明治三十八年	二一七 ×五	一〇、九五三・一三一三 三〇・三一〇二	一九二 ×五	九、六九九・四九〇二 三〇・三一〇二
明治三十九年	五四一 ×九	三三、九一四・一九二一 一一四・三四〇五	四七九 ×九	二九、三八〇・七四一二 一一四・三四〇五
明治四十年	四〇六 ×七	二九、五三九・八二一九 六六・四六一六	三八六 ×七	二六、一八一・四八二五 六六・四六一六
合計	一、六七七 ×四〇	九八、四一八・四〇二五 三九〇・八四一二	一、四九〇 ×四〇	八四、八四三・七二〇九 三九〇・八四一二

（備考）×印ハ耕地整理法第二條ノ規定ニ依ルモノニシテ本數中ニ包含スルモ參考ノタメ別掲ス

明治四十年自七月至十二月中認可ヲ爲シタル整理施行府縣別

府縣	發起認可 箇所	發起認可 地區總面積（町）	施行認可 箇所	施行認可 地區總面積（町）
東京	一	一七四・七三二七	一	一七四・七三二七
京都	一	四八・七四〇〇	一	一三・五五一三
大阪	一	三四・八七二三	—	—
神奈川	一	一二・九六二七	—	—
兵庫	一	六七・八八〇二	一	六七・八八〇二
新潟	三	一四六・八五一六	七	四二九・九六一六
埼玉	一	二、一七九・六九〇四	一	二、一七九・六九〇四
群馬	一	四五九・〇九一五	五	一〇三・六三三三
千葉	五	四四六・二三一二	二	三四七・五一〇四
茨城	二	一、二三五・三〇一六	—	—
栃木	二	四八五・八一二〇	六	三一九・〇〇二一
三重	二	二五三・九六〇七	三	二〇〇・七五二一
愛知	二	三、一二六・九七〇四	一	一、九五七・三〇一四
靜岡	二	三〇六・八八三五	三	一四八・四五一〇
滋賀	二	二六・一五二一	一	一〇・一九一一
岐阜	一	六五・八三二一	—	—
長野	四	六三・一九一三	一	四二・〇六一五
宮城	—	—	四	一七四・九五二三
福島	三八	二、〇三三・五三三五	四〇	二、一四九・四七〇九
青森	一	二五〇・四四一二	一	二五〇・四四一二
山形	三	三四五・九四一〇	五	四八四・六二二四
秋田	七	三、八七七・六七一五	六	一、九五九・二四〇四
福井	一	九・九四〇二		
石川	五	八一・三五二七	一	九三・九三二八
富山	三	九一・〇六二九	五	六二・五二〇八
島根	一	八・六六〇五	四	二四・七六二五
廣島	三	二四・三〇〇九	一	二一・二三二七
山口	七 ×一	五四・三〇一三 三・〇〇〇五	二 ×一	六四・七八一三 三・〇〇〇五
香川	一	一〇九・三〇〇一	一	一一三・〇〇二〇
愛媛	四	一三五・四〇〇六	三	一四九・二三二四
福岡	一	五一・七三一四	二	六二・〇六一三
大分	一	五・五九一四	二	六〇・七五一四
佐賀	五	二四八・六一〇三	二	一一六・一五〇〇
熊本	三	三一・五九〇五	三	一三二・〇九〇一
宮崎			二	七〇・九五二九
鹿児島	二	三三三・九一〇三	二〇	八三七・四三〇二
計	一一六 ×一	一五、一七四・七〇三四 三・〇〇〇五	一四四 ×一	一三、九六八・五九〇五 三・〇〇〇五

（備考）×印ハ耕地整理法第二條ノ規定ニ依ルモノニシテ本數中ニ包含スルモ參考ノタメ別掲ス

明治四十年十二月末現在耕地整理施行地箇所、地區面積及整理費用豫算府縣別

府縣	箇所	地區總面積（町）	地區内田畑面積（町）	整理費用豫算（圓）
東京	三	二四八・一五〇七	田 一九〇・九九二〇 畑 二七・〇八一三	二七、五〇七・一五〇
京都	一八	五一八・九二〇九	〃 四三四・五七一五 〃 二八・八五〇二	六八、七五五・七九五
大阪	四	二一九・八五二一	〃 一七二・五四〇九 〃 一七・八二〇四	八三、一七〇・六三五
神奈川	二	九二七・一八一七	〃 六六七・二五二二 〃 一〇〇・一五一七	一六四、六八八・三五四
兵庫	一八	五五三・一七〇九	〃 三九二・六二二六 〃 一〇五・八〇一三	九七、三八六・六〇〇
長崎	六	五三・六五二七	〃 五〇・〇五〇九 〃 〇・〇八〇〇	一五、六〇四・七七三
新潟	六八	四、六五八・五四二九	〃 三、四〇七・四七〇七 〃 七六〇・七八一三	四五五、六七八・五九五
埼玉	二七	四、四八四・二三一九	〃 三、二五六・六四〇四 〃 八〇〇・八三二一	三二五、九四九・五五九
群馬	一〇〇	二、九一四・二四一六	〃 一、四〇四・七九〇〇 〃 九一七・一七一二	四五一、二一四・七二六
千葉	四四	四、七七七・四〇一二	〃 三、二五四・四三一九 〃 六二九・九六〇七	四九七、九四九・九二九 外ニ夫役三千三百三十八
茨城	四一	六、〇二五・三九二二	〃 四、一四七・七一一八 〃 一、〇二五・三二一八	四六四、〇四一・六七四
栃木	四九	一、七三五・九八二三	〃 一、〇〇一・五七一六 〃 三二九・六一〇七	二九四、九六二・五一八
三重	一三	六四五・四三三四	〃 五一五・七五二二 〃 七〇・七六三三	一四〇、六七一・八〇一
愛知	二三	五、〇三七・七九二五	〃 二、六〇八・二六二三 〃 一、六六〇・七五二二	八九六、四一四・〇八六
靜岡	三〇	一、二一三・九〇一八	〃 九五三・七二二七 〃 八二・三五二六	一四七、四〇三・八九四
山梨	一	七・九四〇九	〃 六・〇一一二 〃 一・〇六二〇	四九七・八三〇
滋賀	一〇	三二六・三四〇〇	〃 一五九・八四二〇 〃 四〇・五七二二	五六、〇三七・〇七五
岐阜	一二	二、七〇四・一九二〇	〃 二、一九四・一五三五 〃 一一七・七二二一	二四九、四七六・一一七
長野	五〇	一、〇七四・七〇一二	〃 五六二・八六〇二 〃 三三〇・九五二四	二八四、二一五・二一八
宮城	一九四	一八、〇三三・三一一九	〃 一三、〇一四・六〇五 〃 一、〇三〇・八二〇一	一、〇八九、七六六・二一〇
福島	三三六	一六、〇一一・七三〇四	〃 一〇、六八〇・〇四〇五 〃 一、八八二・一八〇四	一、五九九、〇九五・七七六
岩手	二八	二、九二二・二一二九	〃 一、八五八・五九〇八 〃 四六〇・七五二九	二七二、二三三・四八九
青森	五	二一三・六二〇八	〃 一七一・六〇一七 〃 四・五八〇七	一六、四九二・〇二三
山形	四二	二、八三八・七五一二	〃 二、一五六・二〇〇四 〃 二五一・二〇一六	一九八、四三一・六九五
秋田	二四	七、〇八四・八六一四	〃 五、一〇六・四九〇九 〃 三二六・一四二九	六一一、五七六・六四九
福井	二四	八四九・五三〇四	〃 四五三・二九〇七 〃 二八〇・七七〇一	一三四、二五四・二七六
石川	五七	一、八六六・二七〇二	〃 一、二七八・四八〇〇 〃 二六五・九九一二	二一二、四七八・〇九九

第7413号　本文

○工業試驗場業務功程

福井縣工業試驗場明治三十九年度業務功程左ノ如シ

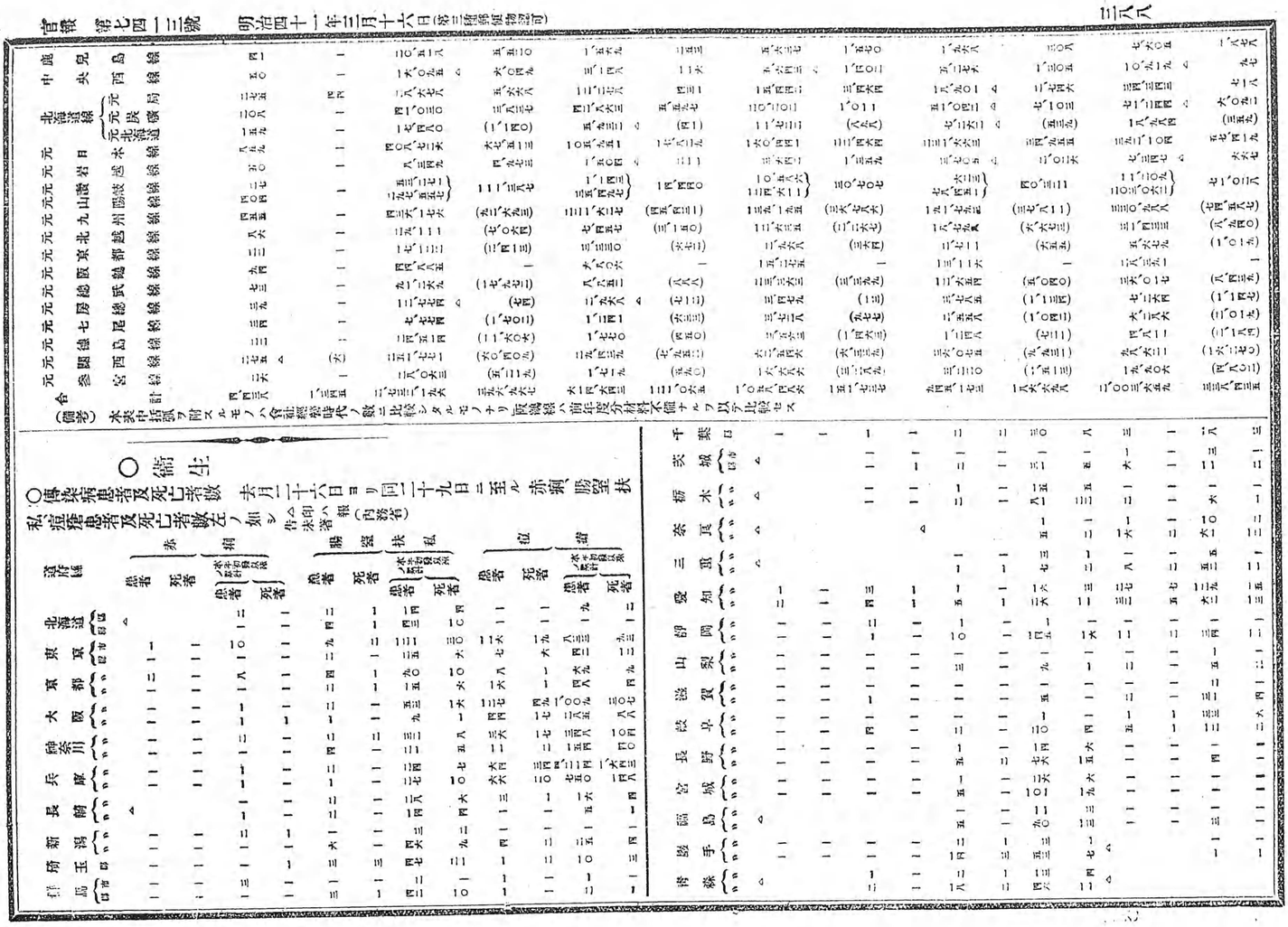
○役員證可

水戸商業學校長ニ於テ任官奏薦ノ結果左ノ通認可セラル（文部省）

○本月十三日農商務省ニ於テ之ヲ認可セラレタル（農商務省）

第7413号　本文

第7413号　本文



○帝國議會

○貴族院

○議案受領　一昨十四日衆議院ヨリ左ノ改正提出案ヲ受領セリ

○感化法中改正法律案

○議案提出　一昨十四日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

衆議院議員選舉法中改正法律案
日糖業水產業銀行法案
通漁業法中改正法律案
市制中改正法律案
町村制中改正法律案
○報告書提出　一昨十四日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

地租條例中改正法律案
關稅定率法輸入稅表中改正法律案
地租條例中改正法律案
關稅定率法輸入稅表中改正法律案
明治三十四年法律第三十九號中改正法律案
明治三十年法律第三十九號中改正法律案

平民ノ稱記ニ關スル建議案可決報告書

○畢類配付　一昨十四日左ノ畢類ヲ各議員ニ配付セリ

醫事日程第十五號
懲治監規則中改正法律案
以上特選
懲治監規則中改正法律案
感化法中改正法律案
結核病豫防法中改正法律案
感化法中改正法律案
以上委員長報告書
以上委員ノ報告書

○議事日程　明十七日ノ議事日程左ノ如シ

議事日程　第十五號　明治四十一年三月十七日（火曜日）
午前十時開議
第一　刑法施行法案（衆議院提出）
第二　陸軍刑法施行法案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第三　海軍刑法施行法案（衆議院提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第四　法律案（文部大臣樺山資紀君提出）　第一讀會
第五　右議案ノ審査ヲ特別委員ニ付託スベキ特別委員ノ選舉

○移民取扱出張所設置　移民取扱人ニ關スル件ヲ定ム

○移民業務代理許可證返納　移民業務代理許可證返納ヲ終リ左記移民業務代理許可證ヲ返納セリ（外務省）

○雜事

○傳染病患者及死亡者數　去月二十六日ヨリ同二十九日ニ至ル赤痢腸窒扶斯私痘患者及死亡者數左ノ如シ（詳細ハ衛生局報告ニ依リ内務省ニ於テ作ル）

○衛生

第7413号　本文

第一議會　第一　第二　第三　第四　第五　第六　第七　第八　第九　第十　第十一　第十二　第十三　第十四　第十五　第十六　第十七　第十八　第十九　第二十　第二十一　第二十二　第二十三　第二十四　第二十五　第二十六　第二十七　第二十八　第二十九　第三十　第三十一　第三十二　第三十三　第三十四　第三十五　第三十六　第三十七　第三十八　第三十九　第四十　第四十一　第四十二　第四十三　第四十四　第四十五　第四十六　第四十七　第四十八　第四十九　第五十　第五十一　第五十二　第五十三　第五十四　第五十五　第五十六　第五十七　第五十八　第五十九　第六十　第六十一　第六十二　第六十三　第六十四　第六十五　第六十六　第六十七　第六十八　第六十九　第七十　第七十一　第七十二　第七十三　第七十四　第七十五　第七十六　第七十七　第七十八　第七十九　第八十　第八十一　第八十二　第八十三　第八十四　第八十五　第八十六　第八十七　第八十八　第八十九　第九十　第九十一　第九十二　第九十三　第九十四　第九十五　第九十六　第九十七　第九十八　第九十九　第百　第百一　第百二　第百三　第百四　第百五　第百六　第百七　第百八　第百九　第百十　第百十一　第百十二　第百十三　第百十四　第百十五　第百十六　第百十七　第百十八　第百十九　第百二十　第百二十一　第百二十二　第百二十三　第百二十四　第百二十五　第百二十六　第百二十七　第百二十八　第百二十九　第百三十　第百三十一　第百三十二　第百三十三　第百三十四　第百三十五　第百三十六　第百三十七　第百三十八　第百三十九　第百四十　第百四十一　第百四十二　第百四十三　第百四十四　第百四十五　第百四十六　第百四十七　第百四十八　第百四十九　第百五十　第百五十一　第百五十二　第百五十三　第百五十四　第百五十五　第百五十六　第百五十七　第百五十八　第百五十九　第百六十　第百六十一　第百六十二　第百六十三　第百六十四　第百六十五　第百六十六　第百六十七　第百六十八　第百六十九　第百七十　第百七十一　第百七十二　第百七十三　第百七十四　第百七十五　第百七十六　第百七十七　第百七十八　第百七十九　第百八十　第百八十一　第百八十二　第百八十三　第百八十四　第百八十五　第百八十六　第百八十七　第百八十八　第百八十九　第百九十　第百九十一　第百九十二　第百九十三　第百九十四　第百九十五　第百九十六　第百九十七　第百九十八　第百九十九　第二百　第二百一　第二百二　第二百三　第二百四　第二百五　第二百六　第二百七　第二百八　第二百九　第二百十　第二百十一　第二百十二　第二百十三　第二百十四　第二百十五　第二百十六　第二百十七　第二百十八　第二百十九　第二百二十　第二百二十一　第二百二十二　第二百二十三　第二百二十四　第二百二十五　第二百二十六　第二百二十七　第二百二十八　第二百二十九　第二百三十　第二百三十一　第二百三十二　第二百三十三　第二百三十四　第二百三十五　第二百三十六　第二百三十七　第二百三十八　第二百三十九　第二百四十　第二百四十一　第二百四十二　第二百四十三　第二百四十四　第二百四十五　第二百四十六　第二百四十七　第二百四十八　第二百四十九　第二百五十　第二百五十一　第二百五十二　第二百五十三　第二百五十四　第二百五十五　第二百五十六　第二百五十七　第二百五十八　第二百五十九　第二百六十　第二百六十一　第二百六十二　第二百六十三　第二百六十四　第二百六十五　第二百六十六　第二百六十七　第二百六十八　第二百六十九　第二百七十　第二百七十一　第二百七十二　第二百七十三　第二百七十四　第二百七十五　第二百七十六　第二百七十七　第二百七十八　第二百七十九　第二百八十　第二百八十一　第二百八十二　第二百八十三　第二百八十四　第二百八十五　第二百八十六　第二百八十七　第二百八十八　第二百八十九　第二百九十　第二百九十一　第二百九十二　第二百九十三　第二百九十四　第二百九十五　第二百九十六　第二百九十七　第二百九十八　第二百九十九　第三百　第三百一　第三百二　第三百三　第三百四　第三百五　第三百六　第三百七　第三百八　第三百九　第三百十　第三百十一　第三百十二　第三百十三　第三百十四　第三百十五　第三百十六　第三百十七　第三百十八　第三百十九　第三百二十　第三百二十一　第三百二十二　第三百二十三　第三百二十四　第三百二十五　第三百二十六　第三百二十七　第三百二十八　第三百二十九　第三百三十　第三百三十一　第三百三十二　第三百三十三　第三百三十四　第三百三十五　第三百三十六　第三百三十七　第三百三十八　第三百三十九　第三百四十　第三百四十一　第三百四十二　第三百四十三　第三百四十四　第三百四十五　第三百四十六　第三百四十七　第三百四十八　第三百四十九　第三百五十　第三百五十一　第三百五十二　第三百五十三　第三百五十四　第三百五十五　第三百五十六　第三百五十七　第三百五十八　第三百五十九　第三百六十　第三百六十一　第三百六十二　第三百六十三　第三百六十四　第三百六十五　第三百六十六　第三百六十七　第三百六十八　第三百六十九　第三百七十　第三百七十一　第三百七十二　第三百七十三　第三百七十四　第三百七十五　第三百七十六　第三百七十七　第三百七十八　第三百七十九　第三百八十　第三百八十一　第三百八十二　第三百八十三　第三百八十四　第三百八十五　第三百八十六　第三百八十七　第三百八十八　第三百八十九　第三百九十　第三百九十一　第三百九十二　第三百九十三　第三百九十四　第三百九十五　第三百九十六　第三百九十七　第三百九十八　第三百九十九　第四百　第四百一　第四百二　第四百三　第四百四　第四百五　第四百六　第四百七　第四百八　第四百九　第四百十　第四百十一　第四百十二　第四百十三　第四百十四　第四百十五　第四百十六　第四百十七　第四百十八　第四百十九　第四百二十　第四百二十一　第四百二十二　第四百二十三　第四百二十四　第四百二十五　第四百二十六　第四百二十七　第四百二十八　第四百二十九　第四百三十　第四百三十一　第四百三十二　第四百三十三　第四百三十四　第四百三十五　第四百三十六　第四百三十七　第四百三十八　第四百三十九　第四百四十　第四百四十一　第四百四十二　第四百四十三　第四百四十四　第四百四十五　第四百四十六　第四百四十七　第四百四十八　第四百四十九　第四百五十　第四百五十一　第四百五十二　第四百五十三　第四百五十四　第四百五十五　第四百五十六　第四百五十七　第四百五十八　第四百五十九　第四百六十　第四百六十一　第四百六十二　第四百六十三　第四百六十四　第四百六十五　第四百六十六　第四百六十七　第四百六十八　第四百六十九　第四百七十　第四百七十一　第四百七十二　第四百七十三　第四百七十四　第四百七十五　第四百七十六　第四百七十七　第四百七十八　第四百七十九　第四百八十　第四百八十一　第四百八十二　第四百八十三　第四百八十四　第四百八十五　第四百八十六　第四百八十七　第四百八十八　第四百八十九　第四百九十　第四百九十一　第四百九十二　第四百九十三　第四百九十四　第四百九十五　第四百九十六　第四百九十七　第四百九十八　第四百九十九　第五百　第五百一　第五百二　第五百三　第五百四　第五百五　第五百六　第五百七　第五百八　第五百九　第五百十　第五百十一　第五百十二　第五百十三　第五百十四　第五百十五　第五百十六　第五百十七　第五百十八　第五百十九　第五百二十　第五百二十一　第五百二十二　第五百二十三　第五百二十四　第五百二十五　第五百二十六　第五百二十七　第五百二十八　第五百二十九　第五百三十　第五百三十一　第五百三十二　第五百三十三　第五百三十四　第五百三十五　第五百三十六　第五百三十七　第五百三十八　第五百三十九　第五百四十　第五百四十一　第五百四十二　第五百四十三　第五百四十四　第五百四十五　第五百四十六　第五百四十七　第五百四十八　第五百四十九　第五百五十　第五百五十一　第五百五十二　第五百五十三　第五百五十四　第五百五十五　第五百五十六　第五百五十七　第五百五十八　第五百五十九　第五百六十　第五百六十一　第五百六十二　第五百六十三　第五百六十四　第五百六十五　第五百六十六　第五百六十七　第五百六十八　第五百六十九　第五百七十　第五百七十一　第五百七十二　第五百七十三　第五百七十四　第五百七十五　第五百七十六　第五百七十七　第五百七十八　第五百七十九　第五百八十　第五百八十一　第五百八十二　第五百八十三　第五百八十四　第五百八十五　第五百八十六　第五百八十七　第五百八十八　第五百八十九　第五百九十　第五百九十一　第五百九十二　第五百九十三　第五百九十四　第五百九十五　第五百九十六　第五百九十七　第五百九十八　第五百九十九　第六百　第六百一　第六百二　第六百三　第六百四　第六百五　第六百六　第六百七　第六百八　第六百九　第六百十　第六百十一　第六百十二　第六百十三　第六百十四　第六百十五　第六百十六　第六百十七　第六百十八　第六百十九　第六百二十　第六百二十一　第六百二十二　第六百二十三　第六百二十四　第六百二十五　第六百二十六　第六百二十七　第六百二十八　第六百二十九　第六百三十　第六百三十一　第六百三十二　第六百三十三　第六百三十四　第六百三十五　第六百三十六　第六百三十七　第六百三十八　第六百三十九　第六百四十　第六百四十一　第六百四十二　第六百四十三　第六百四十四　第六百四十五　第六百四十六　第六百四十七　第六百四十八　第六百四十九　第六百五十　第六百五十一　第六百五十二　第六百五十三　第六百五十四　第六百五十五　第六百五十六　第六百五十七　第六百五十八　第六百五十九　第六百六十　第六百六十一　第六百六十二　第六百六十三　第六百六十四　第六百六十五　第六百六十六　第六百六十七　第六百六十八　第六百六十九　第六百七十　第六百七十一　第六百七十二　第六百七十三　第六百七十四　第六百七十五　第六百七十六　第六百七十七　第六百七十八　第六百七十九　第六百八十　第六百八十一　第六百八十二　第六百八十三　第六百八十四　第六百八十五　第六百八十六　第六百八十七　第六百八十八　第六百八十九　第六百九十　第六百九十一　第六百九十二　第六百九十三　第六百九十四　第六百九十五　第六百九十六　第六百九十七　第六百九十八　第六百九十九　第七百　第七百一　第七百二　第七百三　第七百四　第七百五　第七百六　第七百七　第七百八　第七百九　第七百十　第七百十一　第七百十二　第七百十三　第七百十四　第七百十五　第七百十六　第七百十七　第七百十八　第七百十九　第七百二十　第七百二十一　第七百二十二　第七百二十三　第七百二十四　第七百二十五　第七百二十六　第七百二十七　第七百二十八　第七百二十九　第七百三十　第七百三十一　第七百三十二　第七百三十三　第七百三十四　第七百三十五　第七百三十六　第七百三十七　第七百三十八　第七百三十九　第七百四十　第七百四十一　第七百四十二　第七百四十三　第七百四十四　第七百四十五　第七百四十六　第七百四十七　第七百四十八　第七百四十九　第七百五十　第七百五十一　第七百五十二　第七百五十三　第七百五十四　第七百五十五　第七百五十六　第七百五十七　第七百五十八　第七百五十九　第七百六十　第七百六十一　第七百六十二　第七百六十三　第七百六十四　第七百六十五　第七百六十六　第七百六十七　第七百六十八　第七百六十九　第七百七十　第七百七十一　第七百七十二　第七百七十三　第七百七十四　第七百七十五　第七百七十六　第七百七十七　第七百七十八　第七百七十九　第七百八十　第七百八十一　第七百八十二　第七百八十三　第七百八十四　第七百八十五　第七百八十六　第七百八十七　第七百八十八　第七百八十九　第七百九十　第七百九十一　第七百九十二　第七百九十三　第七百九十四　第七百九十五　第七百九十六　第七百九十七　第七百九十八　第七百九十九　第八百　第八百一　第八百二　第八百三　第八百四　第八百五　第八百六　第八百七　第八百八　第八百九　第八百十　第八百十一　第八百十二　第八百十三　第八百十四　第八百十五　第八百十六　第八百十七　第八百十八　第八百十九　第八百二十　第八百二十一　第八百二十二　第八百二十三　第八百二十四　第八百二十五　第八百二十六　第八百二十七　第八百二十八　第八百二十九　第八百三十　第八百三十一　第八百三十二　第八百三十三　第八百三十四　第八百三十五　第八百三十六　第八百三十七　第八百三十八　第八百三十九　第八百四十　第八百四十一　第八百四十二　第八百四十三　第八百四十四　第八百四十五　第八百四十六　第八百四十七　第八百四十八　第八百四十九　第八百五十　第八百五十一　第八百五十二　第八百五十三　第八百五十四　第八百五十五　第八百五十六　第八百五十七　第八百五十八　第八百五十九　第八百六十　第八百六十一　第八百六十二　第八百六十三　第八百六十四　第八百六十五　第八百六十六　第八百六十七　第八百六十八　第八百六十九　第八百七十　第八百七十一　第八百七十二　第八百七十三　第八百七十四　第八百七十五　第八百七十六　第八百七十七　第八百七十八　第八百七十九　第八百八十　第八百八十一　第八百八十二　第八百八十三　第八百八十四　第八百八十五　第八百八十六　第八百八十七　第八百八十八　第八百八十九　第八百九十　第八百九十一　第八百九十二　第八百九十三　第八百九十四　第八百九十五　第八百九十六　第八百九十七　第八百九十八　第八百九十九　第九百　第九百一　第九百二　第九百三　第九百四　第九百五　第九百六　第九百七　第九百八　第九百九　第九百十　第九百十一　第九百十二　第九百十三　第九百十四　第九百十五　第九百十六　第九百十七　第九百十八　第九百十九　第九百二十　第九百二十一　第九百二十二　第九百二十三　第九百二十四　第九百二十五　第九百二十六　第九百二十七　第九百二十八　第九百二十九　第九百三十　第九百三十一　第九百三十二　第九百三十三　第九百三十四　第九百三十五　第九百三十六　第九百三十七　第九百三十八　第九百三十九　第九百四十　第九百四十一　第九百四十二　第九百四十三　第九百四十四　第九百四十五　第九百四十六　第九百四十七　第九百四十八　第九百四十九　第九百五十　第九百五十一　第九百五十二　第九百五十三　第九百五十四　第九百五十五　第九百五十六　第九百五十七　第九百五十八　第九百五十九　第九百六十　第九百六十一　第九百六十二　第九百六十三　第九百六十四　第九百六十五　第九百六十六　第九百六十七　第九百六十八　第九百六十九　第九百七十　第九百七十一　第九百七十二　第九百七十三　第九百七十四　第九百七十五　第九百七十六　第九百七十七　第九百七十八　第九百七十九　第九百八十　第九百八十一　第九百八十二　第九百八十三　第九百八十四　第九百八十五　第九百八十六　第九百八十七　第九百八十八　第九百八十九　第九百九十　第九百九十一　第九百九十二　第九百九十三　第九百九十四　第九百九十五　第九百九十六　第九百九十七　第九百九十八　第九百九十九　第千　第千一　第千二　第千三　第千四　第千五　第千六　第千七　第千八　第千九　第千十　第千十一　第千十二　第千十三　第千十四　第千十五　第千十六　第千十七　第千十八　第千十九　第千二十　第千二十一　第千二十二　第千二十三　第千二十四　第千二十五　第千二十六　第千二十七　第千二十八　第千二十九　第千三十　第千三十一　第千三十二　第千三十三　第千三十四　第千三十五　第千三十六　第千三十七　第千三十八　第千三十九　第千四十　第千四十一　第千四十二　第千四十三　第千四十四　第千四十五　第千四十六　第千四十七　第千四十八　第千四十九　第千五十　第千五十一　第千五十二　第千五十三　第千五十四　第千五十五　第千五十六　第千五十七　第千五十八　第千五十九　第千六十　第千六十一　第千六十二　第千六十三　第千六十四　第千六十五　第千六十六　第千六十七　第千六十八　第千六十九　第千七十　第千七十一　第千七十二　第千七十三　第千七十四　第千七十五　第千七十六　第千七十七　第千七十八　第千七十九　第千八十　第千八十一　第千八十二　第千八十三　第千八十四　第千八十五　第千八十六　第千八十七　第千八十八　第千八十九　第千九十　第千九十一　第千九十二　第千九十三　第千九十四　第千九十五　第千九十六　第千九十七　第千九十八　第千九十九　第千百　第千百一　第千百二　第千百三　第千百四　第千百五　第千百六　第千百七　第千百八　第千百九　第千百十　第千百十一　第千百十二　第千百十三　第千百十四　第千百十五　第千百十六　第千百十七　第千百十八　第千百十九　第千百二十　第千百二十一　第千百二十二　第千百二十三　第千百二十四　第千百二十五　第千百二十六　第千百二十七　第千百二十八　第千百二十九　第千百三十　第千百三十一　第千百三十二　第千百三十三　第千百三十四　第千百三十五　第千百三十六　第千百三十七　第千百三十八　第千百三十九　第千百四十　第千百四十一　第千百四十二　第千百四十三　第千百四十四　第千百四十五　第千百四十六　第千百四十七　第千百四十八　第千百四十九　第千百五十　第千百五十一　第千百五十二　第千百五十三　第千百五十四　第千百五十五　第千百五十六　第千百五十七　第千百五十八　第千百五十九　第千百六十　第千百六十一　第千百六十二　第千百六十三　第千百六十四　第千百六十五　第千百六十六　第千百六十七　第千百六十八　第千百六十九　第千百七十　第千百七十一　第千百七十二　第千百七十三　第千百七十四　第千百七十五　第千百七十六　第千百七十七　第千百七十八　第千百七十九　第千百八十　第千百八十一　第千百八十二　第千百八十三　第千百八十四　第千百八十五　第千百八十六　第千百八十七　第千百八十八　第千百八十九　第千百九十　第千百九十一　第千百九十二　第千百九十三　第千百九十四　第千百九十五　第千百九十六　第千百九十七　第千百九十八　第千百九十九　第千二百　第千二百一　第千二百二　第千二百三　第千二百四　第千二百五　第千二百六　第千二百七　第千二百八　第千二百九　第千二百十　第千二百十一　第千二百十二　第千二百十三　第千二百十四　第千二百十五　第千二百十六　第千二百十七　第千二百十八　第千二百十九　第千二百二十　第千二百二十一　第千二百二十二　第千二百二十三　第千二百二十四　第千二百二十五　第千二百二十六　第千二百二十七　第千二百二十八　第千二百二十九　第千二百三十　第千二百三十一　第千二百三十二　第千二百三十三　第千二百三十四　第千二百三十五　第千二百三十六　第千二百三十七　第千二百三十八　第千二百三十九　第千二百四十　第千二百四十一　第千二百四十二　第千二百四十三　第千二百四十四　第千二百四十五　第千二百四十六　第千二百四十七　第千二百四十八　第千二百四十九　第千二百五十　第千二百五十一　第千二百五十二　第千二百五十三　第千二百五十四　第千二百五十五　第千二百五十六　第千二百五十七　第千二百五十八　第千二百五十九　第千二百六十　第千二百六十一　第千二百六十二　第千二百六十三　第千二百六十四　第千二百六十五　第千二百六十六　第千二百六十七　第千二百六十八　第千二百六十九　第千二百七十　第千二百七十一　第千二百七十二　第千二百七十三　第千二百七十四　第千二百七十五　第千二百七十六　第千二百七十七　第千二百七十八　第千二百七十九　第千二百八十　第千二百八十一　第千二百八十二　第千二百八十三　第千二百八十四　第千二百八十五　第千二百八十六　第千二百八十七　第千二百八十八　第千二百八十九　第千二百九十　第千二百九十一　第千二百九十二　第千二百九十三　第千二百九十四　第千二百九十五　第千二百九十六　第千二百九十七　第千二百九十八　第千二百九十九　第千三百　第千三百一　第千三百二　第千三百三　第千三百四　第千三百五　第千三百六　第千三百七　第千三百八　第千三百九　第千三百十　第千三百十一　第千三百十二　第千三百十三　第千三百十四　第千三百十五　第千三百十六　第千三百十七　第千三百十八　第千三百十九　第千三百二十　第千三百二十一　第千三百二十二　第千三百二十三　第千三百二十四　第千三百二十五　第千三百二十六　第千三百二十七　第千三百二十八　第千三百二十九　第千三百三十　第千三百三十一　第千三百三十二　第千三百三十三　第千三百三十四　第千三百三十五　第千三百三十六　第千三百三十七　第千三百三十八　第千三百三十九　第千三百四十　第千三百四十一　第千三百四十二　第千三百四十三　第千三百四十四　第千三百四十五　第千三百四十六　第千三百四十七　第千三百四十八　第千三百四十九　第千三百五十　第千三百五十一　第千三百五十二　第千三百五十三　第千三百五十四　第千三百五十五　第千三百五十六　第千三百五十七　第千三百五十八　第千三百五十九　第千三百六十　第千三百六十一　第千三百六十二　第千三百六十三　第千三百六十四　第千三百六十五　第千三百六十六　第千三百六十七　第千三百六十八　第千三百六十九　第千三百七十　第千三百七十一　第千三百七十二　第千三百七十三　第千三百七十四　第千三百七十五　第千三百七十六　第千三百七十七　第千三百七十八　第千三百七十九　第千三百八十　第千三百八十一　第千三百八十二　第千三百八十三　第千三百八十四　第千三百八十五　第千三百八十六　第千三百八十七　第千三百八十八　第千三百八十九　第千三百九十　第千三百九十一　第千三百九十二　第千三百九十三　第千三百九十四　第千三百九十五　第千三百九十六　第千三百九十七　第千三百九十八　第千三百九十九　第千四百　第千四百一　第千四百二　第千四百三　第千四百四　第千四百五　第千四百六　第千四百七　第千四百八　第千四百九　第千四百十　第千四百十一　第千四百十二　第千四百十三　第千四百十四　第千四百十五　第千四百十六　第千四百十七　第千四百十八　第千四百十九　第千四百二十　第千四百二十一　第千四百二十二　第千四百二十三　第千四百二十四　第千四百二十五　第千四百二十六　第千四百二十七　第千四百二十八　第千四百二十九　第千四百三十　第千四百三十一　第千四百三十二　第千四百三十三　第千四百三十四　第千四百三十五　第千四百三十六　第千四百三十七　第千四百三十八　第千四百三十九　第千四百四十　第千四百四十一　第千四百四十二　第千四百四十三　第千四百四十四　第千四百四十五　第千四百四十六　第千四百四十七　第千四百四十八　第千四百四十九　第千四百五十　第千四百五十一　第千四百五十二　第千四百五十三　第千四百五十四　第千四百五十五　第千四百五十六　第千四百五十七　第千四百五十八　第千四百五十九　第千四百六十　第千四百六十一　第千四百六十二　第千四百六十三　第千四百六十四　第千四百六十五　第千四百六十六　第千四百六十七　第千四百六十八　第千四百六十九　第千四百七十　第千四百七十一　第千四百七十二　第千四百七十三　第千四百七十四　第千四百七十五　第千四百七十六　第千四百七十七　第千四百七十八　第千四百七十九　第千四百八十　第千四百八十一　第千四百八十二　第千四百八十三　第千四百八十四　第千四百八十五　第千四百八十六　第千四百八十七　第千四百八十八　第千四百八十九　第千四百九十　第千四百九十一　第千四百九十二　第千四百九十三　第千四百九十四　第千四百九十五　第千四百九十六　第千四百九十七　第千四百九十八　第千四百九十九　第千五百　第千五百一　第千五百二　第千五百三　第千五百四　第千五百五　第千五百六　第千五百七　第千五百八　第千五百九　第千五百十　第千五百十一　第千五百十二　第千五百十三　第千五百十四　第千五百十五　第千五百十六　第千五百十七　第千五百十八　第千五百十九　第千五百二十　第千五百二十一　第千五百二十二　第千五百二十三　第千五百二十四　第千五百二十五　第千五百二十六　第千五百二十七　第千五百二十八　第千五百二十九　第千五百三十　第千五百三十一　第千五百三十二　第千五百三十三　第千五百三十四　第千五百三十五　第千五百三十六　第千五百三十七　第千五百三十八　第千五百三十九　第千五百四十　第千五百四十一　第千五百四十二　第千五百四十三　第千五百四十四　第千五百四十五　第千五百四十六　第千五百四十七　第千五百四十八　第千五百四十九　第千五百五十　第千五百五十一　第千五百五十二　第千五百五十三　第千五百五十四　第千五百五十五　第千五百五十六　第千五百五十七　第千五百五十八　第千五百五十九　第千五百六十　第千五百六十一　第千五百六十二　第千五百六十三　第千五百六十四　第千五百六十五　第千五百六十六　第千五百六十七　第千五百六十八　第千五百六十九　第千五百七十　第千五百七十一　第千五百七十二　第千五百七十三　第千五百七十四　第千五百七十五　第千五百七十六　第千五百七十七　第千五百七十八　第千五百七十九　第千五百八十　第千五百八十一　第千五百八十二　第千五百八十三　第千五百八十四　第千五百八十五　第千五百八十六　第千五百八十七　第千五百八十八　第千五百八十九　第千五百九十　第千五百九十一　第千五百九十二　第千五百九十三　第千五百九十四　第千五百九十五　第千五百九十六　第千五百九十七　第千五百九十八　第千五百九十九　第千六百　第千六百一　第千六百二　第千六百三　第千六百四　第千六百五　第千六百六　第千六百七　第千六百八　第千六百九　第千六百十　第千六百十一　第千六百十二　第千六百十三　第千六百十四　第千六百十五　第千六百十六　第千六百十七　第千六百十八　第千六百十九　第千六百二十　第千六百二十一　第千六百二十二　第千六百二十三　第千六百二十四　第千六百二十五　第千六百二十六　第千六百二十七　第千六百二十八　第千六百二十九　第千六百三十　第千六百三十一　第千六百三十二　第千六百三十三　第千六百三十四　第千六百三十五　第千六百三十六　第千六百三十七　第千六百三十八　第千六百三十九　第千六百四十　第千六百四十一　第千六百四十二　第千六百四十三　第千六百四十四　第千六百四十五　第千六百四十六　第千六百四十七　第千六百四十八　第千六百四十九　第千六百五十　第千六百五十一　第千六百五十二　第千六百五十三　第千六百五十四　第千六百五十五　第千六百五十六　第千六百五十七　第千六百五十八　第千六百五十九　第千六百六十　第千六百六十一　第千六百六十二　第千六百六十三　第千六百六十四　第千六百六十五　第千六百六十六　第千六百六十七　第千六百六十八　第千六百六十九　第千六百七十　第千六百七十一　第千六百七十二　第千六百七十三　第千六百七十四　第千六百七十五　第千六百七十六　第千六百七十七　第千六百七十八　第千六百七十九　第千六百八十　第千六百八十一　第千六百八十二　第千六百八十三　第千六百八十四　第千六百八十五　第千六百八十六　第千六百八十七　第千六百八十八　第千六百八十九　第千六百九十　第千六百九十一　第千六百九十二　第千六百九十三　第千六百九十四　第千六百九十五　第千六百九十六　第千六百九十七　第千六百九十八　第千六百九十九　第千七百　第千七百一　第千七百二　第千七百三　第千七百四　第千七百五　第千七百六　第千七百七　第千七百八　第千七百九　第千七百十　第千七百十一　第千七百十二　第千七百十三　第千七百十四　第千七百十五　第千七百十六　第千七百十七　第千七百十八　第千七百十九　第千七百二十　第千七百二十一　第千七百二十二　第千七百二十三　第千七百二十四　第千七百二十五　第千七百二十六　第千七百二十七　第千七百二十八　第千七百二十九　第千七百三十　第千七百三十一　第千七百三十二　第千七百三十三　第千七百三十四　第千七百三十五　第千七百三十六　第千七百三十七　第千七百三十八　第千七百三十九　第千七百四十　第千七百四十一　第千七百四十二　第千七百四十三　第千七百四十四　第千七百四十五　第千七百四十六　第千七百四十七　第千七百四十八　第千七百四十九　第千七百五十　第千七百五十一　第千七百五十二　第千七百五十三　第千七百五十四　第千七百五十五　第千七百五十六　第千七百五十七　第千七百五十八　第千七百五十九　第千七百六十　第千七百六十一　第千七百六十二　第千七百六十三　第千七百六十四　第千七百六十五　第千七百六十六　第千七百六十七　第千七百六十八　第千七百六十九　第千七百七十　第千七百七十一　第千七百七十二　第千七百七十三　第千七百七十四　第千七百七十五　第千七百七十六　第千七百七十七　第千七百七十八　第千七百七十九　第千七百八十　第千七百八十一　第千七百八十二　第千七百八十三　第千七百八十四　第千七百八十五　第千七百八十六　第千七百八十七　第千七百八十八　第千七百八十九　第千七百九十　第千七百九十一　第千七百九十二　第千七百九十三　第千七百九十四　第千七百九十五　第千七百九十六　第千七百九十七　第千七百九十八　第千七百九十九　第千八百　第千八百一　第千八百二　第千八百三　第千八百四　第千八百五　第千八百六　第千八百七　第千八百八　第千八百九　第千八百十　第千八百十一　第千八百十二　第千八百十三　第千八百十四　第千八百十五　第千八百十六　第千八百十七　第千八百十八　第千八百十九　第千八百二十　第千八百二十一　第千八百二十二　第千八百二十三　第千八百二十四　第千八百二十五　第千八百二十六　第千八百二十七　第千八百二十八　第千八百二十九　第千八百三十　第千八百三十一　第千八百三十二　第千八百三十三　第千八百三十四　第千八百三十五　第千八百三十六　第千八百三十七　第千八百三十八　第千八百三十九　第千八百四十　第千八百四十一　第千八百四十二　第千八百四十三　第千八百四十四　第千八百四十五　第千八百四十六　第千八百四十七　第千八百四十八　第千八百四十九　第千八百五十　第千八百五十一　第千八百五十二　第千八百五十三　第千八百五十四　第千八百五十五　第千八百五十六　第千八百五十七　第千八百五十八　第千八百五十九　第千八百六十　第千八百六十一　第千八百六十二　第千八百六十三　第千八百六十四　第千八百六十五　第千八百六十六　第千八百六十七　第千八百六十八　第千八百六十九　第千八百七十　第千八百七十一　第千八百七十二　第千八百七十三　第千八百七十四　第千八百七十五　第千八百七十六　第千八百七十七　第千八百七十八　第千八百七十九　第千八百八十　第千八百八十一　第千八百八十二　第千八百八十三　第千八百八十四　第千八百八十五　第千八百八十六　第千八百八十七　第千八百八十八　第千八百八十九　第千八百九十　第千八百九十一　第千八百九十二　第千八百九十三　第千八百九十四　第千八百九十五　第千八百九十六　第千八百九十七　第千八百九十八　第千八百九十九　第千九百　第千九百一　第千九百二　第千九百三　第千九百四　第千九百五　第千九百六　第千九百七　第千九百八　第千九百九　第千九百十　第千九百十一　第千九百十二　第千九百十三　第千九百十四　第千九百十五　第千九百十六　第千九百十七　第千九百十八　第千九百十九　第千九百二十　第千九百二十一　第千九百二十二　第千九百二十三　第千九百二十四　第千九百二十五　第千九百二十六　第千九百二十七　第千九百二十八　第千九百二十九　第千九百三十　第千九百三十一　第千九百三十二　第千九百三十三　第千九百三十四　第千九百三十五　第千九百三十六　第千九百三十七　第千九百三十八　第千九百三十九　第千九百四十　第千九百四十一　第千九百四十二　第千九百四十三　第千九百四十四　第千九百四十五　第千九百四十六　第千九百四十七　第千九百四十八　第千九百四十九　第千九百五十　第千九百五十一　第千九百五十二　第千九百五十三　第千九百五十四　第千九百五十五　第千九百五十六　第千九百五十七　第千九百五十八　第千九百五十九　第千九百六十　第千九百六十一　第千九百六十二　第千九百六十三　第千九百六十四　第千九百六十五　第千九百六十六　第千九百六十七　第千九百六十八　第千九百六十九　第千九百七十　第千九百七十一　第千九百七十二　第千九百七十三　第千九百七十四　第千九百七十五　第千九百七十六　第千九百七十七　第千九百七十八　第千九百七十九　第千九百八十　第千九百八十一　第千九百八十二　第千九百八十三　第千九百八十四　第千九百八十五　第千九百八十六　第千九百八十七　第千九百八十八　第千九百八十九　第千九百九十　第千九百九十一　第千九百九十二　第千九百九十三　第千九百九十四　第千九百九十五　第千九百九十六　第千九百九十七　第千九百九十八　第千九百九十九　第二千　第二千一　第二千二　第二千三　第二千四　第二千五　第二千六　第二千七　第二千八　第二千九　第二千十　第二千十一　第二千十二　第二千十三　第二千十四　第二千十五　第二千十六　第二千十七　第二千十八　第二千十九　第二千二十　第二千二十一　第二千二十二　第二千二十三　第二千二十四　第二千二十五　第二千二十六　第二千二十七　第二千二十八　第二千二十九　第二千三十　第二千三十一　第二千三十二　第二千三十三　第二千三十四　第二千三十五　第二千三十六　第二千三十七　第二千三十八　第二千三十九　第二千四十　第二千四十一　第二千四十二　第二千四十三　第二千四十四　第二千四十五　第二千四十六　第二千四十七　第二千四十八　第二千四十九　第二千五十　第二千五十一　第二千五十二　第二千五十三　第二千五十四　第二千五十五　第二千五十六　第二千五十七　第二千五十八　第二千五十九　第二千六十　第二千六十一　第二千六十二　第二千六十三　第二千六十四　第二千六十五　第二千六十六　第二千六十七　第二千六十八　第二千六十九　第二千七十　第二千七十一　第二千七十二　第二千七十三　第二千七十四　第二千七十五　第二千七十六　第二千七十七　第二千七十八　第二千七十九　第二千八十　第二千八十一　第二千八十二　第二千八十三　第二千八十四　第二千八十五　第二千八十六　第二千八十七　第二千八十八　第二千八十九　第二千九十　第二千九十一　第二千九十二　第二千九十三　第二千九十四　第二千九十五　第二千九十六　第二千九十七　第二千九十八　第二千九十九　第二千百　第二千百一　第二千百二　第二千百三　第二千百四　第二千百五　第二千百六　第二千百七　第二千百八　第二千百九　第二千百十　第二千百十一　第二千百十二　第二千百十三　第二千百十四　第二千百十五　第二千百十六　第二千百十七　第二千百十八　第二千百十九　第二千百二十　第二千百二十一　第二千百二十二　第二千百二十三　第二千百二十四　第二千百二十五　第二千百二十六　第二千百二十七　第二千百二十八　第二千百二十九　第二千百三十　第二千百三十一　第二千百三十二　第二千百三十三　第二千百三十四　第二千百三十五　第二千百三十六　第二千百三十七　第二千百三十八　第二千百三十九　第二千百四十　第二千百四十一　第二千百四十二　第二千百四十三　第二千百四十四　第二千百四十五　第二千百四十六　第二千百四十七　第二千百四十八　第二千百四十九　第二千百五十　第二千百五十一　第二千百五十二　第二千百五十三　第二千百五十四　第二千百五十五　第二千百五十六　第二千百五十七　第二千百五十八　第二千百五十九　第二千百六十　第二千百六十一　第二千百六十二　第二千百六十三　第二千百六十四　第二千百六十五　第二千百六十六　第二千百六十七　第二千百六十八　第二千百六十九　第二千百七十　第二千百七十一　第二千百七十二　第二千百七十三　第二千百七十四　第二千百七十五　第二千百七十六　第二千百七十七　第二千百七十八　第二千百七十九　第二千百八十　第二千百八十一　第二千百八十二　第二千百八十三　第二千百八十四　第二千百八十五　第二千百八十六　第二千百八十七　第二千百八十八　第二千百八十九　第二千百九十　第二千百九十一　第二千百九十二　第二千百九十三　第二千百九十四　第二千百九十五　第二千百九十六　第二千百九十七　第二千百九十八　第二千百九十九　第二千二百　第二千二百一　第二千二百二　第二千二百三　第二千二百四　第二千二百五　第二千二百六　第二千二百七　第二千二百八　第二千二百九　第二千二百十　第二千二百十一　第二千二百十二　第二千二百十三　第二千二百十四　第二千二百十五　第二千二百十六　第二千二百十七　第二千二百十八　第二千二百十九　第二千二百二十　第二千二百二十一　第二千二百二十二　第二千二百二十三　第二千二百二十四　第二千二百二十五　第二千二百二十六　第二千二百二十七　第二千二百二十八　第二千二百二十九　第二千二百三十　第二千二百三十一　第二千二百三十二　第二千二百三十三　第二千二百三十四　第二千二百三十五　第二千二百三十六　第二千二百三十七　第二千二百三十八　第二千二百三十九　第二千二百四十　第二千二百四十一　第二千二百四十二　第二千二百四十三　第二千二百四十四　第二千二百四十五　第二千二百四十六　第二千二百四十七　第二千二百四十八　第二千二百四十九　第二千二百五十　第二千二百五十一　第二千二百五十二　第二千二百五十三　第二千二百五十四　第二千二百五十五　第二千二百五十六　第二千二百五十七　第二千二百五十八　第二千二百五十九　第二千二百六十　第二千二百六十一　第二千二百六十二　第二千二百六十三　第二千二百六十四　第二千二百六十五　第二千二百六十六　第二千二百六十七　第二千二百六十八　第二千二百六十九　第二千二百七十　第二千二百七十一　第二千二百七十二　第二千二百七十三　第二千二百七十四　第二千二百七十五　第二千二百七十六　第二千二百七十七　第二千二百七十八　第二千二百七十九　第二千二百八十　第二千二百八十一　第二千二百八十二　第二千二百八十三　第二千二百八十四　第二千二百八十五　第二千二百八十六　第二千二百八十七　第二千二百八十八　第二千二百八十九　第二千二百九十　第二千二百九十一　第二千二百九十二　第二千二百九十三　第二千二百九十四　第二千二百九十五　第二千二百九十六　第二千二百九十七　第二千二百九十八　第二千二百九十九　第二千三百　第二千三百一　第二千三百二　第二千三百三　

第7413号 本文

航路補助費復舊ニ關スル建議案

内山　吉太	福島　宜三	池田　惟貞
横田　虎彦	安藤　新太郎	武富　時敏
尾見　濱五郎	松井　源内	野上　嘉平

駿甲連絡鐵道速成ニ關スル建議案

廣瀨　久政	望月　小太郎	山口　小一
鈴木　摠兵衞	田中　定吉	蘆田　鹿之助
松本　君平	川島　瀧藏	天野　董平

民有林野面積實測ニ關スル建議案

關　信之介	紫垣　一雄	辻　寛
久保　伊一郎	神戸　松之輔	伊夫伎　賚弼
藤　金作	小林　仲次	須見　千次郎

勸業銀行及農工銀行ノ資金融通ニ關スル建議案

永島　龜代司	河原林　義雄	松本　大吉
遠藤　庸治	岡田　治衞武	前島　元助
青地　雄太郎	永見　寛二	井上　精一郎

體育ニ關スル建議案

小澤　愛次郎	中谷　宇平	山森　隆
大淵　龍太郎	山布　惟義	星野　仙藏
大野　久次	神藤　才一	神崎　東藏

○委員異動　一昨十四日長崎縣下對馬國、壹岐國ヲ福岡縣ニ編入法律案委員植木元太郎、牧野元辭任ニ付キ其補闕トシテ中倉万次郎、丸山嵯峨一郎ヲ副議長ニ於テ選定セリ

○委員長及理事　一昨十四日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

帝國ノ領土內ニ於ケル裁判ノ效力ニ關スル法律案

委員長　向坂　弘　　理事　矢島浦太郎　小川平吉

○在外公館報告

○日本綿絲並印度綿絲　日本綿絲並印度綿絲ニ關シ上海駐在總領事永瀧久吉ヨリ本月七日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

綿絲輸出獎勵問題ノ起レル昨今綿絲ノ一大市場タル上海ニ於ケル本邦絲ト印度絲トノ勢力消長ノ趨勢ヲ考ヘ以テ日本綿絲輸出ノ盛況ヲ希圖センコトハ當業者ニ取リテ尤モ緊要ナルノミナラス本邦ノ對淸貿易上ニモ亦輕視スヘカラサルモノアルヲ以テ以下少シク所見ヲ述ヘントスルニ先チ上海ニ於ケル本邦絲ト印度絲トノ勢力消長ノ趨勢ヲ考フルタメニ最近八箇年間上海ニ輸入セラレタル兩國綿絲ノ數量及價格ヲ稅關報告ニ依リテ査スルニ左ノ如シ

年次	日本絲 數量	日本絲 價格	印度絲 數量	印度絲 價格
	擔	海關兩	擔	海關兩
三十三年	三八五、三五九	八、〇九二、五五一	四〇九、三四一	七、八七九、八一七
三十四年	三〇〇、二七二	六、三〇五、七二四	九六八、〇七九	二〇、九一〇、五二四
三十五年	二九六、四〇一	六、〇二七、三五八	一、二六六、八九一	二八、一二四、九五九
三十六年	五二九、三三三	一二、三八五、四九一	一、一八四、五七九	二八、七〇二、五九二
三十七年	四九三、八〇四	一二、一四七、五七六	九三四、八二七	二三、七四四、六〇八
三十八年	四四九、五三二	一一、七三二、七七四	一、一一三、一八一	二八、三八六、一二八
三十九年	四〇五、九四六	一〇、三二一、〇二八	一、二〇三、六二七	二九、九一〇、一四一
四十年（九月マテ）	四一四、九四四	—	七九七、八四八	—

右表ニ就キテ之ヲ見レハ今ヨリ八年前卽チ明治三十三年度ニ於ケル輸入額ハ僅ニ約二万擔ノ差（印度絲多）ニテ殆ト同數ニ近カリシモノ翌三十四年ニハ印度絲ハ突然倍額ノ增加ヲ來シタルニ對シ本邦絲ハ却テ減少ヲ來セリ爾來印度絲ハ每年百万擔內外ノ輸入アルニ反シ日本絲ハ四五十万擔ノ輸入ニ過キスシテ之ヲ數量ノ上ヨリ見ルモ亦增減ノ率ヨリ考フルモ本邦絲ハ印度絲ニ優ル所ナク寧ロ本邦絲ハ印度絲ノタメニ壓倒セラルヽヤノ悲觀ナキヲ得ス是レ果シテ本邦絲ハ淸國人ノ需要ニ適セサルカ又其他ニ日本綿絲輸入不振ノ原因アリヤ否ヤヲ講究シテ挽回策ヲ講セシコトハ尤モ緊要ニシテ且ツ尤モ困難ナル問題ナレトモ先ツ順序トシテ比較研究ヲ試ミンニ固ヨリ當港ニ輸入セラルヽ綿絲ノ殆ト全部ハ長江諸港及北淸諸港ニ再輸出セラルヽモノナレハ之カ再輸出地ニ於ケル兩國綿絲ノ需用ノ趨勢ヲ攻査スルノ必要アリ卽チ最近五箇年間當港ヨリ北淸及長江ノ重ナル港ヘノ再輸出高ハ左ノ如シ

港名		三十六年	三十七年	三十八年	三十九年	四十年
		擔	擔	擔	擔	擔
牛莊	日本	一三、一八〇	三二、五一三	二一、三八一	二、一八二	九五〇
〃	印度	七七、二三一	一〇五、七一七	五九、四九一	五五、〇八〇	二六、二八六
天津	〃	一九、二九四	五二、〇六一	三三、三二五	四五、二七〇	九、一九五
〃	〃	一八七、九七七	一七六、三七五	二二七、四六三	二二七、六五四	一九〇、五五八
芝罘	〃	一二、六三九	一五、六二三	一一、一八三	八、五二八	五、〇九〇
〃	〃	一二、三五九	一〇、〇〇九	一三、〇八八	一三、〇一六	九、二一三
寧波	〃	六、七五七	五、二一九	一、九四四	二、一三八	七七七
〃	〃	一五、五六五	九、七三一	四、七二七	五、二五五	六、二四〇
膠州	〃	二七、九四四	四一、六五〇	四六、九六八	七〇、一二七	四七、〇二六
〃	〃	一七、七二一	一八、八四七	二二、五八四	四二、六八七	七二、六八八
漢口	〃	三〇九、〇六四	二六二、二六一	一八七、二四六	一八四、四四五	一九五、八八八
〃	〃	三八三、五六二	三五六、四六六	三一五、五七八	四二〇、六六七	四一九、六六三
九江	〃	一〇、七二四	一四、五一一	八、五二七	四、三七九	三、〇三〇
〃	〃	一二三、〇四五	一二八、五一九	一三七、八五八	一〇六、九五六	一五一、九八一
蕪湖	〃	一四、三七一	一〇、五六三	九、〇一一	一〇、七八四	七、八六二
〃	〃	三三、四六五	一八、〇四八	一三、六六七	三三、六六五	三三、六七八

右表ニ就キテ之ヲ見ルトキハ牛莊ニ於テハ本邦絲及印度絲共ニ減少ヲ示セリ日本絲ノ減少ハ從來當地ヨリ再輸出セラレシモノカ運賃ノ點ヨリ本邦ヨリ直接ニ輸入セラルヽニ至リシニ由ルモノナレトモ印度絲ノ減少ハ卽チ其衰微ヲ表スルモノナリ之ニ反シテ天津ニ於テハ兩國綿絲共ニ增大ヲ示シ兩國綿絲ノ一大戰場タルノ觀アリ而モ本邦絲カ漸次印度絲ヲ壓倒スルノ傾向アルハ尤モ喜フヘシ次ニ芝罘ニ於テハ兩國綿絲ノ勢力互角ノ示シ動モスレハ本邦絲ノ稍ヽ輸ルムヤノ觀アリ次ニ寧波ニ於ケル兩國綿絲ノ共黜ノ勢ナルハ該港一般貿易ノ不振ニ因ルモノナラン膠州ニ於テハ兩國綿絲共盛況ニ向ヒツヽアリ而モ本邦糸ハ稍ヽ印度綿絲ニ輸スルノ觀アリ漢口ニ於テハ印度綿絲ノ漸次增長スルニ反シ日本

絲ハ寧ロ消衰ノ傾向アルハ一ハ本邦ヨリ直輸入セラルヽモノ漸次增セシト一ハ支那綿絲ノ輸入漸次增加セシニ因ルモノナラン卽チ最近五箇年間當港ヨリ漢口ニ輸入セラレタル支那綿絲ノ數量左ノ如シ

三十六年	四一、七三六擔	三十八年	四二、三六六擔	四十年	六三、六八七
三十七年	四五、七七三	三十九年	二三、二三一		

次ニ九江ニ就キテ見ルニ印度綿絲ノ漸增ナルニ反シ本邦絲ハ漸減ヲ示セリ其他ノ揚子江諸港（特ニ蕪湖）ニモ亦沙市及長沙カ日本絲ノ獨占場タルノ外孰モ本邦絲ハ印度絲ノタメニ凌駕セラレツヽアリ特ニ南淸諸港ニ至リテハ全然印度絲ノ獨占場ニシテ本邦絲ハ片影タモ認メス之ヲ要スルニ上海ニ輸入セラルヽ本邦綿絲ノ最大需用地ハ漢口ニシテ膠州之ニ次キ印度綿絲ノ最大需用地モ亦漢口ニシテ天津、九江、膠州、牛莊、芝罘之ニ次ク而シテ兩國綿絲ノ競爭激甚ニシテ而モ日本絲ハ稍々弱氣ヲ呈セリ牛莊ハ今ヤ本邦絲ノ好望ナル再輸出地タラサルノミナラス印度綿絲モ亦日本絲ノ好敵手ニアラス

斯ノ如ク本邦絲ハ漸次印度絲ノタメニ壓倒セラレントスルノ傾向アルハ何ノ故ソヤ吾人ハ此問題ヲ解決スルニ先チ本邦絲ト印度絲トノ特長ヲ明ニシ之カ考究ノ便ニ供セントス

抑々上海市場ニ顯ルヽ綿絲ニ英、印、日、淸ノ四種アリ英國綿絲ハ品質尤モ精良ニシテ價格モ亦高貴ニ過キ支那人ノ需用ニ適セサルニ因リ近年一部ノ需用ノ外殆ト市場ヨリ驅逐セラレントセリ支那綿絲ハ支那綿ヲ用ヒテ紡績スルモノナルヲ以テ色澤純白ナルハ日、印兩綿絲ノ及ハサル所ナレトモ撚強クシテ織布ニ適セス其製出スルモノモ悉ク太絲ニシテ其需用ハ初ハ江浙地方ニ限ラレシカ近來ハ長江筋ノミナラス北淸ヘモ輸出セラルヽニ至リ其輸出高モ漸次增加ノ傾向ヲ呈シ未タ本邦絲ノ好敵手タルニ足ラサレトモ又大ニ侮ルヘカラサルモノアリ卽チ最近十箇年間上海ヨリ輸出セシ數量左ノ如シ

三十年	一〇七、六六一擔	三十三年	二一一、四四七擔	三十七年	一四一、七二六
三十一年	二二一、八八〇	三十四年	二一〇、一四六	三十八年	一三九、二〇七
三十二年	二六六、九一二	三十五年	一八二、九七四	三十九年	八五、二一一
		三十六年	九九、九五六		

猶ホ支那綿絲ニ就キテハ講究スヘキ點多々アレトモ今ハ問題外ナルヲ以テ他日ノ研鑽ニ待タン

次ニ日本絲ト印度絲トノ特長ヲ比較研究スレハ

一　本邦絲ハ印度綿及支那綿ヲ混用ス
一　印度絲ハ印度綿ノミヲ用フ
二　本邦絲ハ精練ノ職工ヲ用フ
二　印度絲ハ精練ノ職工ヲ用ヒス
三　印度絲ハ原料豐富ナリ
三　日本絲ハ原料印度絲丈豐富ナラス
四　故ニ本邦絲ハ光澤アリテ強力ニ富ム
四　故ニ印度絲ハ光澤ナク纖維細大アリ
五　故ニ本邦絲ハ原質精良ニシテ純白ナリ
五　故ニ印度絲ハ品質粗惡ニシテ褐色ヲ帶フ
六　故ニ印度絲ハ價格低廉ナリ
六　故ニ日本絲ハ印度絲ヨリモ價格高貴ナリ
七　印度絲ハ十手及二十手ノ太物ナリ
七　日本絲ハ十四手十六手二十手ノ比較的細物ナリ
八　故ニ十手ハ印度絲ノ獨占ナリ
八　故ニ十六手ハ日本絲ノ獨占ナリ
九　十手ハ粗製布ニ適ス
九　十六手ニハ粗ナラス精ナラス支那ノ織布ニ尤モ適ス
十　故ニ印度絲ハ民度低キ四川方面ニ尤モ需用盛ナリ
十　故ニ日本絲ハ支那民度ノ比較的進歩セル天津及漢口方面ニ需用盛ナリ

兩國綿絲ノ特長ヲ比較シテ茲ニ至レハ印度綿絲ノ日本綿絲ニ優ルハ粗製廉價ニシテ現時ノ支那人民ノ需用ニ適スルニ在リ本邦綿絲ノ印度綿絲ニ優ルハ印度綿絲ノ企テ及ハサル十六手ヲ製出シ得一層精細ナル織布ニ適スルニアルヲ以テ支那民度ノ進歩スルニ從ヒ漸次其需用ヲ增加スルヤ明ナリ

本邦綿絲カ印度綿絲ヨリ高價ナルコトハ先ニ述ヘシ所ナルカ其高低ノ割合ハ果シテ如何固ヨリ上海ニ於ケル綿絲相場ハ銀塊相場ノ高低ニ由リテ左右セラルヽ所多キヲ以テ今昨年中銀塊相場最高（一月三日三十二片⅝）最低（十二月十九日二十四片⅛）ノ兩時ニ於ケル兩國綿絲相場ヲ比較センニ左ノ如シ

種別	一月三日三十二片⅝ノ時	十二月十九日二十四片⅛ノ時
本邦絲	兩	兩
鹽魚十六手	九二・〇〇	九三・〇〇
金象同	九一・〇〇	九一・〇〇
立馬同	九一・五〇	九二・五〇
美人（福島）同	八八・〇〇	九〇・五〇
藍字同	八六・五〇	八九・五〇
花蝶	八四・五〇	九〇・五〇
三馬同	八八・〇〇	九一・五〇
伏龍同	八四・五〇	八七・〇〇
甘字同	八五・二五	八九・〇〇
扇面同	八七・〇〇	八九・〇〇
藍寶二十手	九六・五〇	一〇〇・〇〇
三輪同	九八・五〇	九八・〇〇
入馬同	—	九五・五〇
藍魚三十二手	—	一三五・〇〇
雙鹿同	—	一三五・〇〇
風船同	—	一三五・〇〇
印度絲		
天官送子十手	—	七五・五〇
彩洋房同	—	七五・五〇
紅牛人同	—	七四・五〇
劉海同	—	七四・五〇
雙金鳳同	—	七五・〇〇
紅人竹同	六三・五〇	七四・〇〇
雙同人同	—	七四・〇〇
海龍王二十手	—	八八・〇〇
金氣球同	—	八三・二五
老中國人同	—	八八・〇〇
六角金量同	—	八六・五〇
定南針十六手	—	八五・〇〇
雙金魚十二手	—	七七・〇〇
天官送手同	—	七六・五〇
天主堂十手	六四・〇〇	—
雙旗	六五・〇〇	—
老雙洋錢二十手	八二・七五	—
紅人龍同	七九・五〇	—
五彩美人同	八七・〇〇	—
三金魚同	八一・〇〇	—
三傘同	七七・〇〇	—
紅人頭同	八七・五〇	—

右ノ表ニ就キテ之ヲ觀ルトキハ印度綿絲ト日本綿絲トハ各種ヲ通シテ約十兩內外ノ差アリ淸國人カ高貴ノ品ヲ斥ケテ低廉ノ品ヲ求ムルハ固ヨリ言フヲ待タサルナリ更ニ進ミテ最近四箇年間每年十二月三十一日上海市場ニ於ケル兩國綿絲ノ在荷ヲ比較スルニ左ノ如シ

年次	本邦品	印度絲
	擔	擔
三十七年末	二七、四九〇	一八五、二三三
三十八年末	二三、二二〇	三三九、二七二
三十九年末	三四、三一五	四三八、六二一
四十年末	四三、六五八	二二一、四三六

右在荷高ト同年中ノ輸入高トヲ比較スレハ本邦品ハ三十七年以來輸入高ハ漸次減少セルニモ拘ラス三十九年以來殆ト倍額ノ在荷停滯ヲ來セルヲ知ルナリ印度絲モ亦輸入高ハ漸次增加ノ姿ナレトモ在荷ノ增加ハ一層激シク又停滯ノ姿タルヲ免レス

吾人ハ今ヤ兩國綿絲ノ輸入高需用先、特長及價格ニ就キテ講究ノ結果略々兩口綿絲ノ上海市場ニ於ケル趨勢ノ大要ヲ知リタリ最後ノ問題ハ如何ナル方法ニ依リテ輸出綿絲ノ隆盛ヲ期シ得ヘキヤニ在リ

此頃日本紡績聯合會ニ於テハ日本綿絲輸出獎勵ノタメ本邦綿絲購買者ニ對シ上海ニ於テ景品券ヲ發行セントスト云フ之ニ對スル世間ノ反對說ヲ窺フニ從來淸國ニ於テ本邦綿絲カ印度綿絲ヨリモ高價ナルニ由ルモノナルニ之カ原因ヲ正サスシテ濫ニ投機的方法ヲ採用セントスルハ愚ナリト云フ說ト第二ハ景品額ノ甚タ少額ニシテ淸人ノ射倖心ヲ刺激スルニ足ラスト云フ說ト第三ハ本案ハ輸出獎勵ヲ目的トスルモノニアラスシテ內地ノ絲價ヲ昂メントスルモノナリト云フ數說ナルカ如シ吾人ハ之等ノ反對說ノ可否ヲ論スルヲ止メテ先ツ吾人ノ卑見ヲ述ヘントス

抑々本邦絲ト印度絲トハ各々特長アリテ其需用先ヲ異ニシ印度絲ノ十手本邦絲ノ十六手ノ如キハ他國綿絲ノ企テ及ハサル品ナルコトハ先ニ詳述セシ所ナレトモ一昨年來對淸貿易ノ不振ハ獨リ本邦綿絲ノミニ限ラス一般輸入貿易ノ不況ニ串聯スルモノニシテ卽チ一昨年淸國江北地方大饑饉ノ傷痍尙ホ癒エサルニ昨年中銀價ノ激甚ナル動搖ニ遭遇セシ結果輸入貿易ノ大不況ヲ來シタルモノナリ然ルニ本邦綿絲商ノ多クハ是等ノ事情ヲ深ク考究セスシテ淸國人ノ射倖心ニ乘シテ一時ノ買氣ヲ喚起セントスルカ如キハ甚タ策ノ得タルモノニアラス勿論景品券ノ發行ニ因リテ射倖心ニ富ム淸人ハ一

○觀象

○全國觀察

三月十五日

觀測所	天氣	雨量	風向	風力	氣壓	氣溫	備考
札幌	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
函館	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
寒川	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
青森	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
秋田	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
山形	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
福島	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
新潟	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
高田	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
金澤	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
富山	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
福井	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
名古屋	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
岐阜	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
津	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
京都	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
大阪	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
神戸	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
和歌山	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
鳥取	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
松江	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
岡山	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
廣島	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
山口	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
德島	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
高松	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
松山	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
高知	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
福岡	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
佐賀	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
長崎	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
熊本	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
大分	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
宮崎	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
鹿兒島	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	
那覇	曇	〇	北北西	一	七五八・一	一・〇	

○全國天氣概況

三月十六日

地方	天氣	風向	風力	雨量	氣壓	氣溫
第一區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第二區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第三區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第四區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第五區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第六區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第七區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第八區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第九區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第十區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第十一區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
第十二區	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇

○氣象電報

三月十五日午後四時發

地名	天氣	風向	風力	雨量	氣壓	氣溫
札幌	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
函館	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
寒川	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
青森	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
秋田	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
山形	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
福島	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
新潟	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
高田	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
金澤	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
富山	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
福井	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
名古屋	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
岐阜	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
津	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
京都	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
大阪	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
神戸	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
和歌山	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
鳥取	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
松江	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
岡山	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
廣島	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
山口	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
德島	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
高松	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
松山	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
高知	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
福岡	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
佐賀	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
長崎	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
熊本	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
大分	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
宮崎	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
鹿兒島	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇
那覇	曇	北北西	一	〇	七五八・一	一・〇

○天氣概況

○土地收用公告

○廣告

○船舶ト陸地トノ交通指定場所改定

○船舶檢疫濟證書

○檢疫濟證書

○裁判所書記登用試驗

○船舶職員試驗

○貯金通帳亡失及盜難

○檢定教科用圖書

第7413号　本文

千葉監獄

明治四十一年三月十六日

○購買入札公告

此ノ有

一 外 二百三十石 二百三十五石 三百石 三百五十石 三百六十石 三百七十石 三百八十石 三百九十石 四百石 四百十石 四百二十石 四百三十石 四百四十石 四百五十石 四百六十石 四百七十石 四百八十石 四百九十石 五百石 五百十石 五百二十石 五百三十石 五百四十石 五百五十石 五百六十石 五百七十石 五百八十石 五百九十石 六百石 六百十石 六百二十石 六百三十石 六百四十石 六百五十石 六百六十石 六百七十石 六百八十石 六百九十石 七百石 七百十石 七百二十石 七百三十石 七百四十石 七百五十石 七百六十石 七百七十石 七百八十石 七百九十石 八百石 八百十石 八百二十石 八百三十石 八百四十石 八百五十石 八百六十石 八百七十石 八百八十石 八百九十石 九百石 九百十石 九百二十石 九百三十石 九百四十石 九百五十石 九百六十石 九百七十石 九百八十石 九百九十石 千石 千十石 千二十石 千三十石 千四十石 千五十石 千六十石 千七十石 千八十石 千九十石 二千石 二千十石 二千二十石 二千三十石 二千四十石 二千五十石 二千六十石 二千七十石 二千八十石 二千九十石 三千石 三千十石 三千二十石 三千三十石 三千四十石 三千五十石 三千六十石 三千七十石 三千八十石 三千九十石 四千石 四千十石 四千二十石 四千三十石 四千四十石 四千五十石 四千六十石 四千七十石 四千八十石 四千九十石 五千石 五千十石 五千二十石 五千三十石 五千四十石 五千五十石 五千六十石 五千七十石 五千八十石 五千九十石 六千石 六千十石 六千二十石 六千三十石 六千四十石 六千五十石 六千六十石 六千七十石 六千八十石 六千九十石 七千石 七千十石 七千二十石 七千三十石 七千四十石 七千五十石 七千六十石 七千七十石 七千八十石 七千九十石 八千石 八千十石 八千二十石 八千三十石 八千四十石 八千五十石 八千六十石 八千七十石 八千八十石 八千九十石 九千石 九千十石 九千二十石 九千三十石 九千四十石 九千五十石 九千六十石 九千七十石 九千八十石 九千九十石 一万石

横須賀海軍經理部

明治四十一年三月十六日

○購買入札公告

此ノ有

一 外 二百三十石 二百三十五石 三百石 三百五十石 三百六十石 三百七十石 三百八十石 三百九十石 四百石 四百十石 四百二十石 四百三十石 四百四十石 四百五十石 四百六十石 四百七十石 四百八十石 四百九十石 五百石 五百十石 五百二十石 五百三十石 五百四十石 五百五十石 五百六十石 五百七十石 五百八十石 五百九十石 六百石 六百十石 六百二十石 六百三十石 六百四十石 六百五十石 六百六十石 六百七十石 六百八十石 六百九十石 七百石 七百十石 七百二十石 七百三十石 七百四十石 七百五十石 七百六十石 七百七十石 七百八十石 七百九十石 八百石 八百十石 八百二十石 八百三十石 八百四十石 八百五十石 八百六十石 八百七十石 八百八十石 八百九十石 九百石 九百十石 九百二十石 九百三十石 九百四十石 九百五十石 九百六十石 九百七十石 九百八十石 九百九十石 千石 千十石 千二十石 千三十石 千四十石 千五十石 千六十石 千七十石 千八十石 千九十石 二千石 二千十石 二千二十石 二千三十石 二千四十石 二千五十石 二千六十石 二千七十石 二千八十石 二千九十石 三千石 三千十石 三千二十石 三千三十石 三千四十石 三千五十石 三千六十石 三千七十石 三千八十石 三千九十石 四千石 四千十石 四千二十石 四千三十石 四千四十石 四千五十石 四千六十石 四千七十石 四千八十石 四千九十石 五千石 五千十石 五千二十石 五千三十石 五千四十石 五千五十石 五千六十石 五千七十石 五千八十石 五千九十石 六千石 六千十石 六千二十石 六千三十石 六千四十石 六千五十石 六千六十石 六千七十石 六千八十石 六千九十石 七千石 七千十石 七千二十石 七千三十石 七千四十石 七千五十石 七千六十石 七千七十石 七千八十石 七千九十石 八千石 八千十石 八千二十石 八千三十石 八千四十石 八千五十石 八千六十石 八千七十石 八千八十石 八千九十石 九千石 九千十石 九千二十石 九千三十石 九千四十石 九千五十石 九千六十石 九千七十石 九千八十石 九千九十石 一万石

呉海軍工廠會計部

明治四十一年三月十六日

○購買入札公告

此ノ有

一 外 二百三十石 二百三十五石 三百石 三百五十石 三百六十石 三百七十石 三百八十石 三百九十石 四百石 四百十石 四百二十石 四百三十石 四百四十石 四百五十石 四百六十石 四百七十石 四百八十石 四百九十石 五百石 五百十石 五百二十石 五百三十石 五百四十石 五百五十石 五百六十石 五百七十石 五百八十石 五百九十石 六百石 六百十石 六百二十石 六百三十石 六百四十石 六百五十石 六百六十石 六百七十石 六百八十石 六百九十石 七百石 七百十石 七百二十石 七百三十石 七百四十石 七百五十石 七百六十石 七百七十石 七百八十石 七百九十石 八百石 八百十石 八百二十石 八百三十石 八百四十石 八百五十石 八百六十石 八百七十石 八百八十石 八百九十石 九百石 九百十石 九百二十石 九百三十石 九百四十石 九百五十石 九百六十石 九百七十石 九百八十石 九百九十石 千石 千十石 千二十石 千三十石 千四十石 千五十石 千六十石 千七十石 千八十石 千九十石 二千石 二千十石 二千二十石 二千三十石 二千四十石 二千五十石 二千六十石 二千七十石 二千八十石 二千九十石 三千石 三千十石 三千二十石 三千三十石 三千四十石 三千五十石 三千六十石 三千七十石 三千八十石 三千九十石 四千石 四千十石 四千二十石 四千三十石 四千四十石 四千五十石 四千六十石 四千七十石 四千八十石 四千九十石 五千石 五千十石 五千二十石 五千三十石 五千四十石 五千五十石 五千六十石 五千七十石 五千八十石 五千九十石 六千石 六千十石 六千二十石 六千三十石 六千四十石 六千五十石 六千六十石 六千七十石 六千八十石 六千九十石 七千石 七千十石 七千二十石 七千三十石 七千四十石 七千五十石 七千六十石 七千七十石 七千八十石 七千九十石 八千石 八千十石 八千二十石 八千三十石 八千四十石 八千五十石 八千六十石 八千七十石 八千八十石 八千九十石 九千石 九千十石 九千二十石 九千三十石 九千四十石 九千五十石 九千六十石 九千七十石 九千八十石 九千九十石 一万石

東京郵便局

明治四十一年三月十六日

○購買入札公告

此ノ有

一 外 二百三十石 二百三十五石 三百石 三百五十石 三百六十石 三百七十石 三百八十石 三百九十石 四百石 四百十石 四百二十石 四百三十石 四百四十石 四百五十石 四百六十石 四百七十石 四百八十石 四百九十石 五百石 五百十石 五百二十石 五百三十石 五百四十石 五百五十石 五百六十石 五百七十石 五百八十石 五百九十石 六百石 六百十石 六百二十石 六百三十石 六百四十石 六百五十石 六百六十石 六百七十石 六百八十石 六百九十石 七百石 七百十石 七百二十石 七百三十石 七百四十石 七百五十石 七百六十石 七百七十石 七百八十石 七百九十石 八百石 八百十石 八百二十石 八百三十石 八百四十石 八百五十石 八百六十石 八百七十石 八百八十石 八百九十石 九百石 九百十石 九百二十石 九百三十石 九百四十石 九百五十石 九百六十石 九百七十石 九百八十石 九百九十石 千石 千十石 千二十石 千三十石 千四十石 千五十石 千六十石 千七十石 千八十石 千九十石 二千石 二千十石 二千二十石 二千三十石 二千四十石 二千五十石 二千六十石 二千七十石 二千八十石 二千九十石 三千石 三千十石 三千二十石 三千三十石 三千四十石 三千五十石 三千六十石 三千七十石 三千八十石 三千九十石 四千石 四千十石 四千二十石 四千三十石 四千四十石 四千五十石 四千六十石 四千七十石 四千八十石 四千九十石 五千石 五千十石 五千二十石 五千三十石 五千四十石 五千五十石 五千六十石 五千七十石 五千八十石 五千九十石 六千石 六千十石 六千二十石 六千三十石 六千四十石 六千五十石 六千六十石 六千七十石 六千八十石 六千九十石 七千石 七千十石 七千二十石 七千三十石 七千四十石 七千五十石 七千六十石 七千七十石 七千八十石 七千九十石 八千石 八千十石 八千二十石 八千三十石 八千四十石 八千五十石 八千六十石 八千七十石 八千八十石 八千九十石 九千石 九千十石 九千二十石 九千三十石 九千四十石 九千五十石 九千六十石 九千七十石 九千八十石 九千九十石 一万石

帝國鐵道廳計理部

明治四十一年三月十六日

○購買入札公告

此ノ有

一 外 二百三十石 二百三十五石 三百石 三百五十石 三百六十石 三百七十石 三百八十石 三百九十石 四百石 四百十石 四百二十石 四百三十石 四百四十石 四百五十石 四百六十石 四百七十石 四百八十石 四百九十石 五百石 五百十石 五百二十石 五百三十石 五百四十石 五百五十石 五百六十石 五百七十石 五百八十石 五百九十石 六百石 六百十石 六百二十石 六百三十石 六百四十石 六百五十石 六百六十石 六百七十石 六百八十石 六百九十石 七百石 七百十石 七百二十石 七百三十石 七百四十石 七百五十石 七百六十石 七百七十石 七百八十石 七百九十石 八百石 八百十石 八百二十石 八百三十石 八百四十石 八百五十石 八百六十石 八百七十石 八百八十石 八百九十石 九百石 九百十石 九百二十石 九百三十石 九百四十石 九百五十石 九百六十石 九百七十石 九百八十石 九百九十石 千石 千十石 千二十石 千三十石 千四十石 千五十石 千六十石 千七十石 千八十石 千九十石 二千石 二千十石 二千二十石 二千三十石 二千四十石 二千五十石 二千六十石 二千七十石 二千八十石 二千九十石 三千石 三千十石 三千二十石 三千三十石 三千四十石 三千五十石 三千六十石 三千七十石 三千八十石 三千九十石 四千石 四千十石 四千二十石 四千三十石 四千四十石 四千五十石 四千六十石 四千七十石 四千八十石 四千九十石 五千石 五千十石 五千二十石 五千三十石 五千四十石 五千五十石 五千六十石 五千七十石 五千八十石 五千九十石 六千石 六千十石 六千二十石 六千三十石 六千四十石 六千五十石 六千六十石 六千七十石 六千八十石 六千九十石 七千石 七千十石 七千二十石 七千三十石 七千四十石 七千五十石 七千六十石 七千七十石 七千八十石 七千九十石 八千石 八千十石 八千二十石 八千三十石 八千四十石 八千五十石 八千六十石 八千七十石 八千八十石 八千九十石 九千石 九千十石 九千二十石 九千三十石 九千四十石 九千五十石 九千六十石 九千七十石 九千八十石 九千九十石 一万石

陸軍衛生材料廠

明治四十一年三月十六日

○購買入札公告

此ノ有

一 外 二百三十石 二百三十五石 三百石 三百五十石 三百六十石 三百七十石 三百八十石 三百九十石 四百石 四百十石 四百二十石 四百三十石 四百四十石 四百五十石 四百六十石 四百七十石 四百八十石 四百九十石 五百石 五百十石 五百二十石 五百三十石 五百四十石 五百五十石 五百六十石 五百七十石 五百八十石 五百九十石 六百石 六百十石 六百二十石 六百三十石 六百四十石 六百五十石 六百六十石 六百七十石 六百八十石 六百九十石 七百石 七百十石 七百二十石 七百三十石 七百四十石 七百五十石 七百六十石 七百七十石 七百八十石 七百九十石 八百石 八百十石 八百二十石 八百三十石 八百四十石 八百五十石 八百六十石 八百七十石 八百八十石 八百九十石 九百石 九百十石 九百二十石 九百三十石 九百四十石 九百五十石 九百六十石 九百七十石 九百八十石 九百九十石 千石 千十石 千二十石 千三十石 千四十石 千五十石 千六十石 千七十石 千八十石 千九十石 二千石 二千十石 二千二十石 二千三十石 二千四十石 二千五十石 二千六十石 二千七十石 二千八十石 二千九十石 三千石 三千十石 三千二十石 三千三十石 三千四十石 三千五十石 三千六十石 三千七十石 三千八十石 三千九十石 四千石 四千十石 四千二十石 四千三十石 四千四十石 四千五十石 四千六十石 四千七十石 四千八十石 四千九十石 五千石 五千十石 五千二十石 五千三十石 五千四十石 五千五十石 五千六十石 五千七十石 五千八十石 五千九十石 六千石 六千十石 六千二十石 六千三十石 六千四十石 六千五十石 六千六十石 六千七十石 六千八十石 六千九十石 七千石 七千十石 七千二十石 七千三十石 七千四十石 七千五十石 七千六十石 七千七十石 七千八十石 七千九十石 八千石 八千十石 八千二十石 八千三十石 八千四十石 八千五十石 八千六十石 八千七十石 八千八十石 八千九十石 九千石 九千十石 九千二十石 九千三十石 九千四十石 九千五十石 九千六十石 九千七十石 九千八十石 九千九十石 一万石

陸軍衛生材料廠

○購買入札

○證券保管通帳亡失及盜難

郵便爲替貯金管理所

第7413号 本文

○諏訪入札

○工事請負入札

○入札心得

○林野賣拂不許可

○商業登記

○法人登記

○産業組合登記

○準禁治産宣告

第7413号 本文

○公示催告

鹿兒島縣鹿兒島郡西武田村武六十四番戶平民
不在者　堀　助次郎
嘉永六年四月十五日生

右者ニ對シ實母堀キクヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ依リ不在者ハ明治四十一年九月三十日迄ニ當區裁判所ヘ生存ノ屆出ヲ爲スヘシ若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪宣告ヲ受クヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

明治四十一年三月五日

鹿兒島區裁判所
判事　岡澤圭一郎

正誤

一昨十四日官報附錄本欄一頁下段濱横區裁判所ハ横濱區裁判所ノ誤植

○東京郵便局外國郵便締切時限

明十七日神戶マテ汽車便送同地ヨリ山口丸ヲ以テ上海經由南淸地方ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常	十七日午後二時半	十七日午前十一時半
書留	同日午後二時	同上
小包	同日午前九時半	十六日午後十時

（備考）小包ハ淸國（獨逸局所在地）宛萬國小包竝ニ威海衞、寧波宛香港小包

同日神戶マテ汽車便送同地ヨリ「アルデンハム」號ヲ以テ濠洲、印度及以遠ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常	十七日午後二時半	十七日午前十一時半
書留	同日午後二時	同上
小包	同日午前九時半	十六日午後十時
香港爲替	同日午後一時半	同日午後四時

（備考）小包ハフィリピン諸島、濠洲宛及香港小包トス

明後十八日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「ルーンムウン」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常	十八日午後七時半	十八日午後五時
書留	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
爲替（聯合）	同日午後四時	十七日午後四時
爲替（特別）	十七日午後四時	同上

（備考）本便ニ依リ差立ノ露國以外歐洲諸國宛ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル」小包ハ西伯利及露國宛ノミ

本月二十日神戶マテ汽車便送同地ヨリ弘濟丸ヲ以テ上海經由南淸地方ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常	二十日午後二時半	二十日午前十一時半
書留	同日午後二時	同上
小包	同日午前九時半	十九日午後十時

（備考）小包ハ淸國（獨逸局所在地）宛萬國小包竝ニ威海衞、寧波宛香港小包トス

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「リーユウン」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市內各局
通常	二十日午後七時半	二十日午後五時
書留	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
聯合爲替	同日午後四時	十九日午後四時

（備考）本便ニ依リ差立ノ露國以外歐洲諸國宛ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル」小包ハ西伯利及露國宛ノミ

○同上締切豫告

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一加拿陀經由歐米諸國宛郵便物　十九日頃締切ノ筈

一タコマ經由歐米諸國宛郵便物　三十日頃締切ノ筈

一布哇經由歐米諸國宛郵便物　三十一日頃締切ノ筈

一西伯利經由ノ歐洲諸國宛　每週月、水、金曜日

一上海、香港竝ニ印度地方ヘハ每週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

立神丸　明十七日午後四時橫濱出帆神戶行（改正）

旅順丸　明後十八日未明橫濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行（改正）

阿波丸（歐洲行）　同日正午十二時橫濱出帆本月二十一日午前十一時神戶出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

安藝丸（米國行）　同日午後二時橫濱出帆ビクトリア、シアトル行

天津丸　本月二十日未明橫濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行（改正）

松山丸　同日午後四時橫濱出帆神戶行

釧路丸　同日午後四時橫濱出帆函館、小樽行（船客ヲ搭載セス）

三池丸　同二十三日未明橫濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行

榮城丸　同三十日午後四時橫濱出帆神戶、門司、基隆、安平、打狗行

○同上神戶等出發表

竹島丸　本月二十日午前十時神戶出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行

山東丸　同二十五日午前十時神戶出帆門司、長崎、釜山、仁川、大連、牛莊、大沽行

淡路丸　同二十七日午前十時神戶出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行

弘前丸　同二十九日午前十時神戶出帆門司、長崎、釜山、元山、城津、浦潮斯德行

臺灣航路　神戶發正午　門司著發　基隆著午前

西京丸　每月　三日　四日　七日
十八日　十九日　二十二日

右西京丸ハ神戶鐵道棧橋繫留ニ付キ同所ニテ切符購入乘船ノ便アリ

每日　青森發　函館發　室蘭著
午後十一時　翌午後十時　午前五時
午後六時　　午前六時

○大阪商船株式會社汽船神戶等出發表

韓國行

筑後川丸　明後十八日午前十時大阪出帆同日午後三時神戶出帆門司（下關）、釜山、馬山、木浦、群山、仁川行

群山丸　本月二十一日午前十時大阪出帆同日午後三時神戶出帆門司（下關）、釜山、馬山、木浦、群山、仁川行

安東丸　同二十二日午前十時大阪出帆同日午後三時神戶出帆門司（下關）、釜山、元山行

淸國行

大智丸　明後十八日午前六時大阪出帆同日午前十時神戶出帆門司、天津行

成興丸　本月二十日午前八時大阪出帆同日午後三時神戶出帆宇品、門司（下關）、仁川、鎭南浦、安東縣行

溫州丸　同二十一日大阪出帆門司、天津行（白河ヲ遡航シ天津居留地碼頭ニ横付ス）

汕頭丸　同日午前八時大阪出帆翌二十二日午前十時神戶出帆門司（下關）、仁川、鎭南浦、安東縣行

開城丸　同日正午十二時大阪出帆翌二十二日午前十時神戶出帆門司、大連行

大義丸　同二十四日正午十二時大阪出帆翌二十五日午前十時神戶出帆門司、大連行

大信丸　同二十七日午前六時大阪出帆同日午前十時神戶出帆門司、天津行

臺灣行

臺北丸　今十六日午後三時橫濱出帆本月十九日正午十二時神戶出帆基隆、安平、打狗行

福岡丸　本月二十三日正午十二時橫濱出帆同二十八日午前八時神戶出帆門司、基隆、安平、打狗行

臺南丸　每月八日、二十三日正午十二時神戶出帆門司、基隆行

醫中丸　每月十五日、三十日正午十二時神戶出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　明十七日午後五時敦賀出帆本月十九日浦潮斯德著

木曜日午後二時浦潮斯德出發歐洲行急行列車ニ連絡ス

○號外　一昨十四日發刊豫算及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約四十頁⊜貴族院議事速記錄第十四號十六頁⊜昨十五日發刊衆議院議事速記錄第十五號三十二頁

○附錄　今十六日發刊辭令四頁⊜官報三頁⊜廣告四頁

第7413号　本文

○法律

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル酒造稅法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望
大藏大臣　松田正久

法律第十八號

酒造稅法中左ノ通改正ス

第四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

酒類ヲ製造スル者ニハ其ノ造石數ニ應シ左ノ割合ヲ以テ造石稅ヲ課ス

第一種	酒精分二十度以下ノ清酒、濁酒、白酒及酒精分三十度以下ノ味淋、燒酎	一石ニ付　金二十圓
第二種	酒精分三十五度以下ノ燒酎	一石ニ付　金二十五圓
第三種	酒精分四十度以下ノ燒酎	一石ニ付　金三十圓
第四種	酒精分四十五度以下ノ燒酎	一石ニ付　金三十五圓
第五種	酒精分二十度ヲ超ユル清酒、濁酒、白酒、酒精分三十度ヲ超ユル味淋及酒精分四十五度ヲ超ユル燒酎	一石ニ付　酒精分一度毎ニ金一圓

第七條　第三十三條ニ依リ酒類製造ノ免許ヲ取消シタルトキ又ハ酒類ヲ製造スル者納稅保證物ノ免除ヲ得スシテ保證物ノ提供ヲ爲ササルトキハ前條ノ納期ニ拘ラス造石稅ノ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ場合及國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ造石稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ納稅ノ擔保トシテ酒類ヲ差押フルコトヲ得

第二十二條　免許ヲ受ケスシテ酒類ヲ製造シタル者ハ三十圓以上五千圓以下ノ罰金ニ處シ仍其ノ製造ニ係ル酒類及其ノ容器、器具、器械ヲ沒收ス

前項ノ酒類ニ付テハ第六條ノ納期ニ拘ラス其ノ造石稅ヲ徵收ス

第三十三條　第二十四條乃至第二十八條ニ依リ處罰又ハ處分セラレタル者ニ對シテハ政府ハ酒類製造ノ免許ヲ取消スコトヲ得

前項ニ依リ免許ヲ取消シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間內製成其ノ他必要ノ行爲ヲ繼續セシムルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ本法ノ規定ヲ適用ス

第三十四條中「製造ヲ廢止スルモノ」ヲ「製造ノ免許ヲ取消サレタル場合ニ於テモ」ニ改ム

第三十五條ノ二　此ノ稅法ヲ施行セサル地ニ於テ製造シタル酒類ハ此ノ稅法ト同一ノ稅率ヲ有スル法規ヲ其ノ地ニ於テ施行スル迄ハ此ノ稅法施行地ニ移入スルコトヲ得ス犯ス者ハ其ノ酒類ノ石數ニ應シ第四條ノ稅率ニ從テ算出シタル稅額五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ酒類及其ノ容器ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス

第三十八條乃至第四十條ヲ削ル

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十八條削除ニ關スル規定ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

非常特別稅法中酒造稅法ニ依ル酒類及沖繩縣酒類出港稅ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

物価号外

明治四十一年三月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

大藏大臣　松田正久

法律第十九號

酒精及酒精含有飲料稅法中左ノ通改正ス

第二條中「金七十五錢」ヲ「金一圓」ニ、「金十六圓」ヲ「金二十一圓」ニ改ム

第五條ノ二　政府ハ其ノ年三月ヨリ翌年二月迄ノ一年度間ノ製造石數酒精ニ在リテハ五十石酒精ヲ含有スル飲料ニ在リテハ十石以上ニ非サレハ製造ノ免許ヲ與ヘス

酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料製造ノ免許ヲ受ケタル者前項ノ制限石數以上ノ製造ヲ爲ササリシトキハ變災其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因ルコトヲ證明スルニ非サレハ制限石數ニ相當スル造石稅ヲ課ス但シ其ノ製造セサリシ石數ニ對スル造石稅ハ一石金二十一圓ノ割合ニ依ル

第六條中「製造ヲ廢止」ヲ「免許ヲ取消」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

前條第二項ニ依ル造石稅ハ翌年三月末日迄ニ之ヲ納ムヘシ但シ免許取消ノ場合ニ於テハ取消後三十日以內トス

第七條　第二十三條ノ二ニ依リ酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料製造ノ免許ヲ取消シタル場合及國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ造石稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ納稅ノ擔保トシテ酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ヲ差押フルコトヲ得

第十五條中「罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス」ヲ「罰金ニ處シ仍其ノ製造ニ係ル酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料及其ノ容器、器具、器械ヲ沒收ス但シ罰金ハ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス」ニ改ム

第二十三條ノ二　第十六條乃至第十八條ニ依リ處罰又ハ處分セラレタル者ニ對シテハ政府ハ酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料製造ノ免許ヲ取消スコトヲ得

前項ニ依リ免許ヲ取消シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間內製成其ノ他必要ノ行爲ヲ繼續セシムルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ本法ノ規定ヲ適用ス

第二十四條中「飲料ノ製造ヲ廢止シ」ヲ「飲料製造ノ免許ヲ取消サレ」ニ改ム

第二十四條ノ三　本法ヲ施行セサル地ニ於テ製造シタル酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料ハ本法ト同一ノ稅率ヲ有スル法規ヲ其ノ地ニ於テ施行スル迄ハ本法施行地ニ移入スルコトヲ得ス犯ス者ハ其ノ石數ニ應シ第二條ノ稅率ニ從テ算出シタル稅額五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス」

前項ノ酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料及其ノ容器ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス

第二十七條ヲ削ル

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前酒精又ハ酒精ヲ含有スル飲料製造ノ免許ヲ受ケタル者ニハ明治四十五年二月末日迄ハ第五條ノ二第二項ノ規定ヲ適用セス

非常特別稅法中酒精又ハ酒精含有飲料ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル麥酒稅法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十一年三月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

大藏大臣　松田正久

法律第二十號

麥酒稅法中左ノ通改正ス

第一條中「麥芽ノ重量十分ノ三以內ノ米」ヲ「總重量麥芽ノ十分ノ五ヲ超エサル米、玉蜀黍又ハ砂糖」ニ改ム

第三條中「金七圓」ヲ「金十圓」ニ改ム

第三條ノ二　政府ハ其ノ年三月ヨリ翌年二月迄ノ一年度間ノ製造石數千石以上ニ非サレハ麥酒製造ノ免許ヲ與ヘス

麥酒製造ノ免許ヲ受ケタル者前項ノ制限石數以上ノ製造ヲ爲ササリシトキハ變災其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因ルコトヲ證明スルニ非サレハ制限石數ニ相當スル麥酒稅ヲ課ス

第四條中「製造ヲ廢止」ヲ「免許ヲ取消」ニ改メ左ノ一項ヲ加フ

前條第二項ニ依ル麥酒稅ハ翌年三月末日迄ニ之ヲ納ムヘシ但シ免許取消ノ場合ニ於テハ取消後三十日以內トス

第五條　第十九條ノ二ニ依リ麥酒製造ノ免許ヲ取消シタル場合及國稅徵收法第四條ノ一ニ依リ麥酒稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ納稅ノ擔保トシテ麥酒ヲ差押フルコトヲ得

第十一條中「罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス」ヲ「罰金ニ處シ仍其ノ麥酒及其ノ容器、器具、器械ヲ沒收ス但シ罰金ハ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス」ニ改ム

第十九條ノ二　第十二條乃至第十四條ニ依リ處罰又ハ處分セラレタル者ニ對シテハ政府ハ麥酒製造ノ免許ヲ取消スコトヲ得

前項ニ依リ免許ヲ取消シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間內製成其ノ他必要ノ行爲ヲ繼續セシムルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ本法ノ規定ヲ適用ス

第二十條中「麥酒製造ヲ廢止シ」ヲ「麥酒製造ノ免許ヲ取消サレ」ニ改ム

第二十條ノ二　本法ヲ施行セサル地ニ於テ製造シタル麥酒ハ本法ト同一ノ稅率ヲ有スル法規ヲ其ノ地ニ於テ施行スル迄ハ本法施行地ニ移入スルコトヲ得ス犯ス者ハ其ノ石數ニ應シ第三條ノ稅率ニ從テ算出シタル稅額五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ麥酒及其ノ容器ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前麥酒製造ノ免許ヲ受ケタル者ニハ明治四十五年二月末日迄ハ第三條ノ二第二項ノ規定ヲ適用セス

非常特別稅法中麥酒ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル石油消費稅法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治四十一年三月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

大藏大臣　松田正久

法律第二十一號

石油消費稅法

第一條　石油ニハ本法ニ依リ消費稅ヲ課ス

第二條　消費稅ハ石油一石ニ付金一圓ノ割合トス

第三條　外國ニ輸出スル石油ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ消費稅ヲ免除ス」

消費稅ヲ納付シタル石油ヲ外國ニ輸出シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ消費稅ニ相當スル金額ヲ交付ス

第四條　消費稅ハ製造場、稅關又ハ保稅倉庫ヨリ石油ヲ引取ルトキ引取人之ヲ納付スヘシ

第五條　消費稅額ニ相當スル擔保物ヲ提供シタルトキハ政府ハ三月以內ノ期間ヲ以テ消費稅ノ徵收ヲ猶豫ス

第六條　石油ハ命令ノ定ムル所ニ依リ消費稅ヲ納付セスシテ之ヲ貯藏場ニ移出スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ移出先ヲ以テ製造場ト看做シ移出先ノ營業人ヲ以テ製造者ト看做ス

第七條　消費稅ヲ納付シ製造場ヨリ引取リタル石油ヲ再ヒ其ノ製造場ニ戾入シタル場合ニ於テ其ノ數量ニ付政府ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ數量ニ相當スル石油ニ付テハ更ニ消費稅ノ徵收ヲ爲サス

第八條　製造場、稅關又ハ保稅倉庫ヨリ石油ヲ引取ル者ハ引取ノ際其ノ數量ヲ政府ニ申告スヘシ

第九條　第五條又ハ第六條第一項ニ該當スル場合ヲ除クノ外消費稅納付前ニ於テハ製造場、稅關又ハ保稅倉庫ヨリ石油ヲ引取ルコトヲ得ス

第十條　石油製造者ハ第五條又ハ第六條第一項ニ該當スル場合ヲ除クノ外消費稅納付前ニ於テ石油ヲ他ニ引渡スコトヲ得ス

第十一條　石油ヲ製造セムトスル者ハ政府ニ申告スヘシ

第十二條　石油製造者ハ同一ノ場所ニ於テ石油ノ販賣業ヲ兼營スルコトヲ得ス但シ政府ノ認許ヲ得石油ノ製造場ト販賣場トヲ區劃シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　石油ノ製造者及販賣者ハ帳簿ヲ備ヘ石油ノ製造出入ヲ詳細明瞭ニ記載スヘシ

第7413号　物価号外

第十四條　收稅官吏ハ石油ノ製造場又ハ販賣場ニ立入リ石油、原料、器具、器械、建築物又ハ帳簿書類ヲ檢查スルコトヲ得

收稅官吏ハ監督上必要ト認ムルトキハ前項ノ物件ニ封印ヲ施スコトヲ得

第十五條　收稅官吏ハ運搬中ニ在ル石油ヲ檢查シ其ノ出所及到著先ヲ質問スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ監督上必要ト認メタルトキハ收稅官吏ハ其ノ運搬ヲ停止シ又ハ荷物若ハ船車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ消費稅五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ消費稅ヲ徵收ス但シ罰金額ハ十圓ヲ下ルコトヲ得ス

一　政府ニ申告セスシテ石油ヲ製造シタルトキ

二　外國ニ輸出スル爲消費稅ヲ免除セラレタル石油ヲ內地ニ於テ消費シ又ハ內地ニ於テ消費スル目的ヲ以テ之ヲ讓渡シタルトキ

三　第六條第一項ニ依リ移出シタル石油ヲ其ノ定メラレタル場所ニ移入セス又ハ之ヲ消費シタルトキ

四　第九條又ハ第十條ノ規定ニ違反シタルトキ

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十二條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　石油ノ製造者又ハ販賣者石油ノ製造出入ニ關スル帳簿ヲ調製セス又ハ其ノ記載ヲ詐リ若ハ怠リタルトキ

三　收稅官吏ノ尋問ニ對シ虛僞ノ答辯ヲ爲シ又ハ其ノ職務執行ヲ拒ミ、之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキ但シ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第十八條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用ヰス

第十九條　石油ノ製造者又ハ販賣者カ未成年者若ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ本人ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　石油ノ製造者又ハ販賣者ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

附　則

第二十一條　本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條　本法施行前ヨリ石油ヲ製造シ本法施行後引續キ之ヲ製造セムトスル者ハ本法施行後一月以內ニ其ノ旨政府ニ申告スヘシ

第二十三條　本法ヲ施行セサル地ニ於テ製造又ハ輸入シタル石油ハ本法ト同一ノ稅率ヲ有スル法規ヲ其ノ地ニ施行スル迄ハ本法施行地ニ移入スルコトヲ得ス犯ス者ハ消費稅五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ十圓ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ石油及其ノ容器ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス

○豫算

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治四十一年度歲入歲出總豫算追加ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

大藏大臣　松田正久

豫算

明治四十一年度歲入追加額ヲ五百拾四萬七千九百參拾九圓歲出追加額ヲ貳拾參萬貳千六百四拾八圓ト定ム其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

（別冊）

歲入經常部

第一款　租　稅　金五百參萬五千八百參拾四圓

第四項　酒　稅　金七拾貳萬五千百五拾四圓

第六項　砂糖消費稅　金貳百七拾四萬七千五百九拾壹圓

第十六項　石油消費稅　金百五拾六萬參千八拾九圓

第二款　印紙收入　金拾壹萬貳千百五圓

第一項　印紙收入　金拾壹萬貳千百五圓

歲入經常部合計金五百拾四萬七千九百參拾九圓

大藏省所管

第一款　大藏本省　金千五百六拾八圓

第一項　俸給及諸給　金九百拾貳圓

第二項　廳費　金五百貳拾圓

第六項　旅費　金百參拾六圓

第十三款　內國稅徵收費　金貳拾參萬千八拾圓

第一項　俸給及諸給　金拾四萬五百八拾圓

第二項　廳費　金貳萬貳千五百參圓

第五項　旅費　金五萬貳千六百五拾壹圓

第六項　雜給及雜費　金壹萬五千參百四拾六圓

大藏省所管合計金貳拾參萬貳千六百四拾八圓

○勅令

朕酒造稅法施行規則中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

大藏大臣　松田正久

勅令第三十八號

酒造稅法施行規則中左ノ通改正ス

第十條中「酒精含有飲料」ヲ削ル

第二十一條　保證物ノ種類ハ左ニ揭クルモノニ限ル

一　金錢

二　稅務署長ニ於テ確實ト認ムル有價證券

三　土地

勅令第三十九號

酒精及酒精含有飲料稅法施行規則中左ノ通改正ス

第七條ノ二　變災其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ酒精及酒精含有飲料稅法第五條ノ二ノ制限石數以上ノ製造ヲ爲ササリシ事由ノ證明ハ年度終了後又ハ免許取消後十日以內ニ之ヲ爲スヘシ

第十六條　酒精及酒精含有飲料稅法第二十三條ノ二ニ依リ酒精又ハ酒精含有飲料製造ノ免許ヲ取消シタル場合ニ於テ半製品現存スルトキハ稅務署長ハ製造者ノ申請ニ依リ相當期間ヲ定メテ製成其ノ他必要ノ行爲ヲ繼續セシムヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕酒精及酒精含有飲料稅法施行規則中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月十六日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

大藏大臣　松田正久

第74163号

朕麥酒稅法施行規則中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月十六日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
大藏大臣　松田正久

勅令第四十號

麥酒稅法施行規則中左ノ通改正ス

第七條ノ二　變災其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ麥酒稅法第三條ノ二ノ制限石數以上ノ製造ヲ爲ササリシ事由ノ證明ハ年度終了後又ハ免許取消後十日以內ニ之ヲ爲スヘシ

第十六條　麥酒稅法第十九條ノ二ニ依リ麥酒製造ノ免許ヲ取消シタル場合ニ於テ半製品現存スルトキハ稅務署長ハ麥酒製造者ノ申請ニ依リ相當期間ヲ定メテ製成其ノ他必要ノ行爲ヲ繼續セシムヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕石油消費稅法施行規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月十六日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
大藏大臣　松田正久

勅令第四十一號

石油消費稅法施行規則

第一條　石油ヲ製造セムトスル者ハ製造場ヲ定メ其ノ製造場所轄稅務署ニ申告スヘシ

第二條　製造場ハ其ノ敷地ノ連續セサル場合ニ於テモ之ヲ一製造場ト認ムルコトヲ得

第三條　所轄稅務署ハ必要ト認ムルトキハ石油製造者ニ製造場ノ圖面又ハ製造用ノ器具機械ノ目錄ヲ提出セシムルコトヲ得

第四條　石油製造者製造場ヲ移轉セムトスルトキハ其ノ製造場ヲ定メ移轉先ノ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第五條　石油製造者ニシテ期間ヲ定メテ製造ヲ爲ストキハ製造ニ著手スル每ニ著手及終了ノ時期ヲ豫メ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第六條　第一條若ハ前條ニ依リ申告セラレタル事項又ハ第三條ニ依リ提出シタル圖面若ハ目錄ニ記載シタル事項ニ異動ヲ生シタルトキハ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第七條　石油製造業ヲ相續シタルトキハ相續人ヨリ其ノ旨所轄稅務署ニ申告スヘシ

石油製造業ヲ讓渡サムトスルトキハ讓受人ト連署シ所轄稅務署ニ申告スヘシ

第八條　石油製造者其ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ旨所轄稅務署ニ申告スヘシ

第九條　外國ニ輸出スル石油ニ付消費稅ノ免除ヲ得ムトスル者ハ製造場ヨリ之ヲ引取ル都度所轄稅務署ノ承認ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ收稅官吏ハ必要ト認ムルトキハ其ノ石油ニ封印ヲ施シ之ヲ護送シ又ハ消費稅ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

消費稅ノ免除ヲ得タル石油ヲ製造場、稅關又ハ保稅倉庫ヨリ引取リタル後六月以內ニ外國ニ輸出シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ所轄稅務署ニ提出セサルトキハ外國ニ輸出セラレサルモノト看做シ引取人ヨリ直ニ消費稅ヲ徵收ス

第十條　消費稅ヲ納付シタル石油ヲ外國ニ輸出シ其ノ消費稅ニ相當スル金額ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ輸出ノ際其ノ旨輸出港稅關ニ申告スヘシ

前項ニ依リ輸出ヲ爲シタル者其ノ石油ニ付消費稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類及外國ニ輸出シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添付シ輸出港稅關ニ出願シタルトキハ消費稅ニ相當スル金額ヲ交付ス

第十一條　石油消費稅法第六條ニ依リ石油ヲ移出セムトスル者ハ運搬總路及運搬先ヲ定メ所轄稅務署ノ承認ヲ受クヘシ

第九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十二條　第九條及前條ノ場合ヲ除クノ外製造場、稅關又ハ保稅倉庫ヨリ石油ヲ引取ラムトスル者ハ其ノ旨所轄稅務署ニ申告スヘシ

第十三條　金庫所在地以外ニ限リ收稅官吏ハ消費稅金ノ領收ヲ爲スコトヲ得

第十四條　擔保物ノ種類ハ金錢及所轄稅務署ノ確實ト認メタル有價證券ニ限ル

擔保物ヲ提供セムトスル者ハ前項ノ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ所轄稅務署ニ提出スヘシ

第十五條　擔保トシテ提供シタル有價證券ノ價格減少シタルトキハ所轄稅務署ハ更ニ相當ノ擔保物ノ提供ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ擔保物ノ提供ヲ命セラレタル者之ヲ提供セサルトキハ所轄稅務署ハ直ニ消費稅ヲ徵收ス

第十六條　擔保物ヲ提供シタル場合ニ於テ消費稅納付濟ニ至リタルトキ又ハ消費稅免除ノ確定シタルトキハ所轄稅務署ハ擔保物返付ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條　消費稅ヲ徵收スヘキ場合ニ於テ擔保物アルトキハ擔保物ヲ以テ稅金ニ充ツ

前項ノ場合ニ於テ擔保物有價證券ナルトキハ之ヲ公賣ニ付シ消費稅及公賣ノ費用ニ充ツ

前二項ノ場合ニ於テ不足アルトキハ之ヲ追徵シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス

第十八條　石油製造者ハ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一　原料ノ種類數量他ヨリ引取リタルモノニ在リテハ引取ノ日及其ノ引渡人ノ住所氏名又ハ名稱

二　使用シタル原料ノ種類數量及其ノ使用ノ日

三　製造シタル種類數量及其ノ製造ノ日

四　他ニ引渡シタル種類數量引渡ノ日及其ノ引取人ノ住所氏名又ハ名稱

第十九條　石油販賣者ハ左ノ事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

一　引取リタル數量引取ノ日及其ノ引渡人ノ住所氏名又ハ名稱

二　販賣シタル數量販賣ノ日及其ノ買受人ノ住所氏名又ハ名稱

小賣人ノ場合ニ於テハ前項第二號買受人ノ住所氏名又ハ名稱ヲ記載スルコトヲ要セス

第二十條　本令ニ依リ所轄稅務署ニ申告シ又ハ其ノ承認ヲ受クヘキ場合ニ於テ製造場又ハ貯藏場ニ出張シタル收稅官吏ニ申告シ又ハ其ノ承認ヲ受ケタルトキハ稅務署ニ申告シ又ハ其ノ承認ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十一條　收稅官吏ハ石油ノ製造者又ハ販賣者ノ營業ニ關シ職務上知得シタル事項ヲ他ニ漏洩スルコトヲ得ス

第二十二條　本令中稅務署ニ屬スル事務ハ稅關又ハ保稅倉庫ヨリ引取ラルル石油ニ關シテハ稅關之ヲ行フ

附　則

本令ハ石油消費稅法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

石油消費稅法第二十二條ニ依リ政府ニ申告スヘキ場合ニ於テハ第一條ニ準シ所轄稅務署ニ申告スヘシ

朕間接國稅犯則者處分法施行規則中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月十六日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
大藏大臣　松田正久

勅令第四十二號

間接國稅犯則者處分法施行規則中左ノ通改正ス

第一條中「鹽稅ヲ」「石油消費稅」ニ改ム

第二條中「所有者ヲ」「所有者、所持者」ニ改ム

附　則

本令ハ石油消費稅法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第7413号

官報第七千四百十三號附錄

明治四十一年三月十六日

○辭令

故砲兵二等卒勳八等織元盛光父
同　中山綉次郎父善吉
同　永井與太郎父永井與兵衛
同　松井長八妻松井長八妻たき
同　坂本彦次郎父坂本彦次郎父藪下傳治父藪下芳五郎
同　古本久次郎父古本源右衛門父今川林次郎父今川小平
同　犬飼雨作父犬飼雨作父坂下作藏父坂下伊三郎
同　長谷川新太郎兄長谷川新十郎
故砲兵二等卒勳八等林喜三郎父林喜三右衛門
故砲兵二等卒勳八等横山喜内父横山虎之進
故砲兵二等卒小川理左工門
故砲兵二等卒勳八等南部正平島野清作妻島野清作妻みき
同　谷内田三郎兵衛谷内田瀧太郎父
故砲兵二等卒大藏貞造父大藏松朔
故砲兵二等卒勳八等渡邊倉次郎母渡邊倉次郎母さも
同　清水八三郎父清水八右衛門
同　福田福三郎福田重作父福田重吉父
同　西村孫太郎父西村孫次郎
同　玉田重吉父玉田重次郎
同　西尾權太郎父西尾安次郎
同　櫻枝梅三郎父櫻枝甚三郎
同　和田與三郎父和田市太郎
同　故砲兵二等卒南勇吹父南作次郎
故砲兵二等卒勳八等市原虎吉父市原平太郎
同　横山善次郎妻横山ばつ
故砲兵二等卒齋田升太郎母齋田升太郎母さも
同　故砲兵二等卒勳八等織元盛光兄
同　故砲兵輜卒勳八等名知幾太郎名知儀三郎兄
同　橋田倫道母橋田倫道母はや
同　堀田要之丞父堀田要藏父
同　端野幾吉父端野幾吉父端野幾藏
同　萬助父岡安傳彌岡安精一父
同　田中又次郎父田中市次郎
同　寺林文作母寺林文作母いよ
同　南與次郎父南與兵衛
同　村田次助父村田德松
同　村椿長次郎父村椿辰次郎
同　西協房吉母西協房吉母よね
同　大谷內彌三八妻大谷內ふさ
同　山田仁次郎父山田鉄次郎
同　谷井廣造男谷井廣兵衛
同　藤島久太郎父藤島久藏
同　小松作太郎父小松治三郎
同　栗本德三郎妻栗本德三郎妻さら
同　渡邊嘉六父渡邊佐平
同　井川利市父井川與市
同　田中治郎平父田中藤次郎
同　渡邊金之助母渡邊金之助母る免
同　橫山善次郎妻橫山ばつ
同　土屋三代吉父土屋四郎左衛門
同　市川彌七郎母市川彌七郎母モト
故砲兵少尉正八位勳七等功七級遠谷釀治女遠谷シユン
故砲兵伍長勳八等藤井利太郎父藤井常右工門
故砲兵上等兵勳七等藤本由松父藤本宇平
故砲兵上等兵勳八等三浦良藏父三浦良造
故砲兵一等卒勳七等加藤市三郎妻加藤ますゑ
同　山本市次郎妻山本いや
同　前田金治郎兄前田繁太郎
故砲兵一等卒勳八等功七級坪田仁吉郎男坪田辰次郎
故砲兵一等卒勳八等森場乙吉妻森場てる
同　木下與藏妻木下ヒソ
故砲兵輜卒勳八等功七級長野百太郎妻長野みる
故砲兵輜卒勳八等水野寅吉父水野寅右工門
同　松木竹次郎父松木三七郎
同　小倉藤治郎母小倉藤治郎母さみ
同　置田佐四郎父置田千代松
同　高田伊三郎母高田イト
同　盤若次吉妻盤若ふる
同　水口政良父水口政良父平內
同　加藤宗右衛門父加藤宗右衛門
同　加藤直右衛門林角三郎兄林春九郎
同　谷口末松母谷口末松母モン
同　登松次郎妻登松次郎妻ふじ
同　鈴木賢次郎母鈴木まつゑ
同　保木口一郎父保木口四郎左衛門

（各通）

同　申山綉次郎父善吉
同　永井與太郎父永井與兵衛
同　松井長八妻松井長八妻たき
同　坂本彦次郎父坂本彦次郎父藪下傳治父藪下芳五郎
同　今川林次郎父今川小平
同　坂下作藏父坂下伊三郎
故輜重輸卒勳八等森綱吉太郎母森綱くい
同　今村清作父今村宗左衛門
同　野々村武右衛門父野々村彌右衛門
故砲兵曹長勳七等功七級谷孝造女谷靖列
故砲兵上等兵勳八等高柳閑太郎母高柳逸之助母きよ
同　成瀨逢次郎成瀨逢次郎
同　辻永憲十郎父辻永忠左工門
同　故砲兵一等卒勳八等功七級大鵬園三郎父大鵬和兵衛
故砲兵一等卒勳八等專田庄太郎母專田庄太郎母せい
同　野々村文七母野々村ぶん
故砲兵軍曹勳七等土井永次郎妻土井ふで
故砲兵上等兵勳八等功七級木村滋吉父木村岩之助
故砲兵一等卒勳八等中田新三郎母中田きく
故砲兵二等卒勳八等下澤竹次郎母下澤せい
故砲兵上等兵勳八等功七級出村與六父出村與市
故輜重輸卒勳八等松見磯次郎父松見磯與門
故砲兵二等卒後藤清二郎母後藤きま
同　加藤為吉父加藤為吉
同　保木口一郎父保木口四郎左衛門

同　山本新太郎父
山本　山太郎
同　中田利太郎父
中田　久松
同　小谷久太郎弟
小谷　松次郎
同　鏑木拾次郎男
鏑木　眞次郎
同　田口長三郎
田口　岩五郎
故砲兵輜卒勤八等宮前次作父
宮前　宇之助
故砲兵輜卒勤八等岩田丈作父
岩田　丈八
故砲兵輜卒勤八等杉浦勝治郎父
杉浦　圧九郎
故輜重輸卒勤八等杉浦勝治郎父
杉浦　圧九郎
同　横井清知妻
横井　ちよ
同　後藤倉吉父
後藤　銀平
同　八田與四松母
八田　きく
同　宮村利三次郎父
宮村　傳作
同　高野宇三郎妻
高野　ふで
同　武藤吉五郎母
武藤　ゆう
同　成瀬常一父
成瀬　佐市
同　福田喜一郎男
福田　榮松
同　吉田半太郎父
吉田　榮太郎
同　臼井新三郎母
臼井　ちつ
同　白川猿太郎妹
白川　はや
同　吉村梁次郎父
吉村　文藏
同　熊田辰之助妻
熊田　ゆふ
同　松居留二母
松居　ゆき
同　棚橋竹次郎父
棚橋　伊七
同　棚橋竹次郎母
棚橋　ゆき
同　松居留二母
松居　ゆふ
同　熊田辰之助妻
熊田　ゆふ
同　高木石次郎母
高木　ヨウ
同　横井清知妻
横井　ちよ
同　後藤倉吉父
後藤　銀平
同　八田與四松母
八田　きく
同　宮村利三次郎父
宮村　傳作
同　高野宇三郎妻
高野　ふで
同　武藤吉五郎母
武藤　ゆう
同　成瀬常一父
成瀬　佐市
同　福田喜一郎男
福田　榮松
同　吉田半太郎父
吉田　榮太郎
同　臼井新三郎母
臼井　ちつ
同　白川猿太郎妹
白川　はや
同　吉村梁次郎父
吉村　文藏
同　熊田辰之助妻
熊田　ゆふ
同　松居留二母
松居　ゆき
同　棚橋竹次郎父
棚橋　伊七
同　棚橋竹次郎母
棚橋　ゆき

明治三十七八年從軍記章條例ニ依リ陸軍大臣ノ奏請ヲ經テ明治三十九年三月三十日勅定ノ從軍記章ヲ交付シ以テ之ヲ保存セシム
故工兵大佐正五位勳三等功四級瀧澤正勝妻
瀧澤　房

故工兵大尉正七位勳五等功五級淺井吉之助妻
淺井　そは
同　杉本政吉妻
杉本　むう
故工兵少尉正八位勳六等功五級光藏健介男
光藏　秋一
同　早見伸七男
早見　猛雄
故工兵少尉正八位勳六等功六級村上能男
村上　宏
故工兵輜卒勤八等功七級村上作次妻
村上　ひさ
故工兵一等卒勤八等功七級河原定吉妻
河原　よし
同　前澤菊太郎女
前澤　よき
故工兵上等兵勳八等宮林仁四郎父
宮林　權七
故工兵二等卒勳八等辻本春藏妻
辻本　とめ
故工兵一等卒勳八等池田虎次郎女
池田　サキ
故工兵一等卒勳八等小番場弥左工門妻
小番場　フデ
故工兵二等卒勳八等堀芳藏父
堀　力藏
故工兵上等兵勳八等姉崎清七父
姉崎三郎左衛門
故工兵一等卒勳八等川縁才次郎妻
川縁　みつ
同　坂本久太郎男
坂本　重榮
同　加田秀藏母
加田　せさ
故工兵一等卒勳八等大西喜三郎母
大西　たい
故工兵二等卒勳八等神山鎚五郎父
神山　勘藏
故工兵一等卒勳八等功七級神谷清次郎父
神谷　清七
故三等看護長勳八等佐藤菊二父
佐藤　長七
故工兵軍曹勳七等岡本清兵衛父
岡本　清助
故工兵伍長勳八等直江繩三左衛門
故工兵伍長勳七等功七級宮林常次郎母
打木　ふて
打木　ふみ
故工兵軍曹勳七等竹田乙吉父
竹田　仁右衛門

故工兵一等卒勳八等小倉竜三郎父
小倉　龜次郎
故工兵二等卒勳八等坂下六三郎父
坂下　多へ
故工兵一等卒勳八等舟木源次郎父
舟木　吉藏
故工兵一等卒勳八等功七級山下乘造父
山下　杉松
故工兵上等兵勳八等篠原禎二父
篠原　梅治郎
日比ともゑん
故工兵上等兵勳八等銀治郎父
森　己名吉
故工兵一等卒勳八等功七級前川幸一郎母
前川　りく
故工兵上等兵勳八等功七級銀須田金五郎父
須田　末吉
同　山内與太郎祖母
山内　せよ
故工兵一等卒勳八等吉田佐太郎母
吉田　より
澤田外次郎父
澤田　吉藏
同　曾我鉄平父
曾我　紫吉
同　増田嘉三郎
増田　須榮吉父
同　若槻誠七郎
若槻　貞治
故工兵上等兵勳八等宮本忠太郎父
宮本　伊三松
故工兵上等兵勳八等功七級森田馨父
森田津右衛門
同　野呂戸佐父
野呂戸　伊助
同　室清吉兄
室　清三郎
同　福梅太郎母
福梅　リサ
故工兵一等卒勳八等功七級上田作次郎母
上田　つね
同　栃井万吉妻
栃井　かね
故工兵上等兵勳八等澤田榮次郎父
澤田　伊兵衛
同　加藤徳五郎父
加藤　重作
故工兵一等卒勳八等西尾彌助母
西尾　もよ
故工兵二等卒勳八等金田榮太郎母
金田　つた

故工兵一等卒勳八等小倉竜三郎父
功七級鍛冶野弥次郎妻
鍛冶野　ミツ
故工兵二等卒勳八等坂下六三郎母
坂下　多へ
同　秋山倉藏父
秋山　兵三郎
同　山崎杉松妻
山崎　きさ
同　芝才助妻
芝　なか
故工兵二等卒勳八等寺井文吉母
寺井　もつ
故工兵一等卒勳八等畑島友吉妻
畑島　ゆで
同　宮田鉄太郎妻
宮田　もつ
故工兵二等卒勳八等油田圧太郎父
油田　圧五郎
故工兵一等卒勳八等功七級豊岡由松母
豊岡　きみ
故工兵二等卒勳八等島崎喜與父
島崎　久三郎
同　布村鶴太郎父
布村　藤藏
故工兵二等卒勳八等功七級黒瀬與三次妹
黒瀬　タカ
故工兵二等卒勳八等林五一父
林　鉄次郎
桂川夢助父
桂川　金三郎
故工兵一等卒勳八等永尾與三郎妻
永尾　いと
故工兵上等兵勳八等青山鉄吉妻
青山　てつ
同　尾元久三郎妻
尾元　せち
故工兵二等卒勳八等八反田亀次郎兄
八反田金太郎
故工兵一等卒勳八等功七級櫻井直次郎母
櫻井　禮兵衛
故工兵一等卒勳八等前川久松父
前川　久兵衛
同　畑佐正五郎妻
畑佐　ますの
同　栃井万吉妻
栃井　かね
故工兵上等兵勳八等澤田榮次郎父
澤田　伊兵衛
同　加藤徳五郎父
加藤　重作
故工兵一等卒勳八等西尾彌助母
西尾　もよ
故工兵二等卒勳八等金田榮太郎母
金田　つた

故工兵二等卒勳八等菊井右衛門父
菊井　定右衛門
故工兵一等卒勳八等田口善三郎母
田口　善三
故工兵上等兵勳八等荒井為次郎母
荒井　さと
故工兵一等卒勳八等太藤喜市妻
太藤　きく
故工兵二等卒勳八等葛西政一郎父
葛西　政次郎
故工兵一等卒勳八等下野六三郎妻
下野　てる
故工兵二等卒勳八等矢木爲三郎母
矢木　せつ
同　出口亀藏父
出口　與三平
故工兵一等卒勳八等功七級小原次郎吉母
小原　はる
故工兵二等卒勳八等宮脇與四松父
宮脇　与右エ門
故工兵一等卒勳八等功六級中島千松父
中島　文藏
故工兵伍長勳八等坂上增之助父
坂上　吉左衛門
故工兵一等卒勳八等牛丸助五郎父
牛丸　次藏
同　大矢金市父
大矢　兼太郎
同　谷内田久太郎父
谷内田久四郎
同　北川岩吉母
北川　ミサ
故工兵二等卒勳八等掘川孝次郎母
掘川　あす
故工兵上等兵勳八等西井玉吉妻
西井　そう
故工兵二等卒勳八等荒屋榮太郎妻
荒屋　みつい
故輜重輸卒勳八等棚橋竹次郎妻
棚橋　ハル
故工兵上等兵勳八等金谷又藏妻
金谷　つよ
同　清生與三郎父
清生　與三郎
同　辻順吉妻
辻　ゑと
故工兵一等卒勳八等功七級畑佐三郎女
畑佐　ますい
同　布上安太郎父
布上　安助
故工兵一等卒勳八等功七級森田金藏父
森田　勤市
故工兵上等兵勳八等功七級酒井喜一郎女
酒井　花子
故工兵一等卒勳八等功七級栗師與吉兄
栗師　仁作

（各通）

故工兵二等卒勳八等菊井右衛門父
菊井　定右衛門
故工兵一等卒勳八等田口善三郎母
田口　善三
故工兵二等卒勳八等山田清三郎父
山田　傳吉
同　勝田政吉父
勝田　政吉
同　谷内田久太郎父
谷内田久四郎
同　北川岩吉母
北川　ミサ
故工兵一等卒勳八等代繼利八父
代繼　利右エ門
故工兵二等卒勳八等石川政五郎弟
石川　直治
故工兵一等卒勳八等澤山鶴次郎妻
澤山　こと
故工兵二等卒勳八等石崎二郎父
石崎與治兵衛
同　綱久右衛門母
綱　ユウ
鈴木義雄母
鈴木　つる
故工兵上等兵勳八等功七級柳村竹次郎母
柳村　のひ
金谷又藏妻
金谷　つよ
同　清生與三郎父
清生　與三郎
同　辻順吉妻
辻　ゑと
故工兵一等卒勳八等功七級畑佐三郎女
畑佐　ますい
同　布上安太郎父
布上　安助
故工兵一等卒勳八等功七級森田金藏父
森田　勤市
故工兵上等兵勳八等功七級酒井喜一郎女
酒井　花子
故工兵一等卒勳八等海端長吉相續人
海端　宗吉
故工兵一等卒勳八等功七級栗師與吉兄
栗師　仁作

第七四一三号　官報

官報第七千四百十三號附錄

明治四十一年三月十六日

○彙報

陸海軍

○所在不明徴兵終決處分未濟者

明治三十五年ヨリ同四十年マデニ生レタル

海軍

○所在不明徴兵終決處分未濟者

明治三十五年ヨリ同四十年マデニ生レタル

第7413号　付録

○廣告

○商業登記

合資會社中野玻璃製造所登記事項中左ノ如ク追加ス
一解散ノ事由及年月日　明治四十一年二月二十八日總社員ノ同意ニ依リ解散ス
一清算人ノ氏名住所　東京府北豐島郡南千住町大字千住南十番地　梅田　貞次
合資會社野口商店登記事項中左ノ如ク變更ス
一社員野口庄一郎ハ明治四十一年三月五日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市深川區西平野町十五番地
東亞印刷株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十一年二月二十五日目的ヲ內外國書用ノ證券ノ製造活版、石版、凸版其他ノ印刷物各種罫線及ハ和洋式製本ノ受負和洋紙ノ賣買ニ關スル書籍ノ出版印刷機械ノ賣捌活字ノ鑄造及賣捌ト變更セリ
一明治四十一年二月二十五日左記ノ者取締役ニ重任セリ
東京市淺草區櫻田備前町九番地　村田長兵衛
同市芝區櫻田備前町九番地　石丸鐵三郎
同市淺草區元鳥越町一番地　田村平八郎
同市芝區櫻田備前町九番地　石丸　鶴吉
一明治四十一年二月二十五日左記ノ者監査役ニ重任セリ
東京市牛込區新小川町二丁目十七番地　山田繩次郎
同市深川區富岡門前山本町十七番地　岡本　貞藏
株式會社宮城銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十一年二月二十七日商號ヲ株式會社第日銀行ト變更セリ
一明治四十一年二月二十七日左記ノ者取締役ニ就任セリ
仙臺市東七番町百二十七番地　馬場豐三郎
埼玉縣北足立郡神根村大字石神九十一番地　高橋嘉兵衛
東京點燈株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役小林敏儀島田助三郎ハ明治四十一年二月二十七日辭任シ同日左記ノ者取締役ニ就任セリ
兵庫縣神戶市奧平野村一番邸九十九　井上　健二
東京市神田區小川町一番地　島田勝太郎
合資會社登記簿第二十冊第九百七十四號
一商號　丸六合資會社
一本店　東京市京橋區新肴町十一番地
一目的　內外物產輸出入竝ニ其販賣業ヲ以テ目的トス
一設立ノ年月日　明治四十一年三月一日
一存立ノ時期　明治五十一年二月末日迄滿十箇年間
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
神戶市元町通一丁目二十三番地　森木吉兵衛　金二萬五千圓　有限
同市同町通同丁目二十八番地　森木　元助　同
神戶市葺合筒井町九十一番地　森木　鐵藏　同
神戶市元町通一丁目二十三番地　森木銀治郎　同
東京市小石川區蓮久天町二十四番地　下野　正　金二千五百圓　無限
右明治四十一年三月六日登記　東京區裁判所

株式會社金江津銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十一年二月二十日株主總會ノ決議ニ因リ監査役小笹清次郎內藤多蔵藏改選重任セリ
明治四十一年三月五日登記　龍ヶ崎區裁判所江戶崎出張所

合資會社設立登記
一商號　合資會社中山商店
一本店　京都府天田郡福知山町字西四番地
一目的　貸繰房物賄類ノ賣買委托賣買取扱ヲ爲スヲ以テス
一設立年月日　明治四十一年二月二十五日
一會社ヲ代表スル社員　京都府天田郡福知山町字西四番地　中山鹿治郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
京都府天田郡福知山町字西　中山鹿治郎　金五百圓　無限責任
同所　中山增二郎　金三百圓　同
同府加佐郡河東村字千原　中岡喜太郎　金三百圓　有限責任
滋賀縣坂田郡法性寺村字舘　小川定治郎　金二百圓　同
長康縣朝來郡梁瀨村字矢名瀨町　中村作之助　金二百圓　同
一存立時期　明治四十一年二月二十五日ヨリ滿十箇年
右明治四十一年二月二十九日登記　福知山區裁判所

株式會社登記
株式會社登記第三號
明治四十一年二月二十八日總社員ノ同意ニ依リ解散ス
右明治四十一年三月六日登記ス　梅田　貞次

株式會社登記第三號
株式會社志賀銀行志賀支店登記事項中左ノ通變更ス
一各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ五十圓ト變更ス
右明治四十一年三月六日登記　岩村田區裁判所

株式會社沼田貯蓄銀行登記事項中明治四十一年三月四日支店ヲ左ノ地ニ設置變更ス
一支店　新潟縣北蒲原郡葛塚町大字葛塚三千三百十三番地
明治四十一年三月五日登記　新潟區裁判所

滿原馬車株式會社登記事項中取締役竝ニ監査役滿期改選ニ因リ取締役新保新造安藤鐐下裏嘉平次井吳餘平茂野以作監査役井小平太木元信雅重任變更ス
右明治四十一年三月五日登記　新發田區裁判所

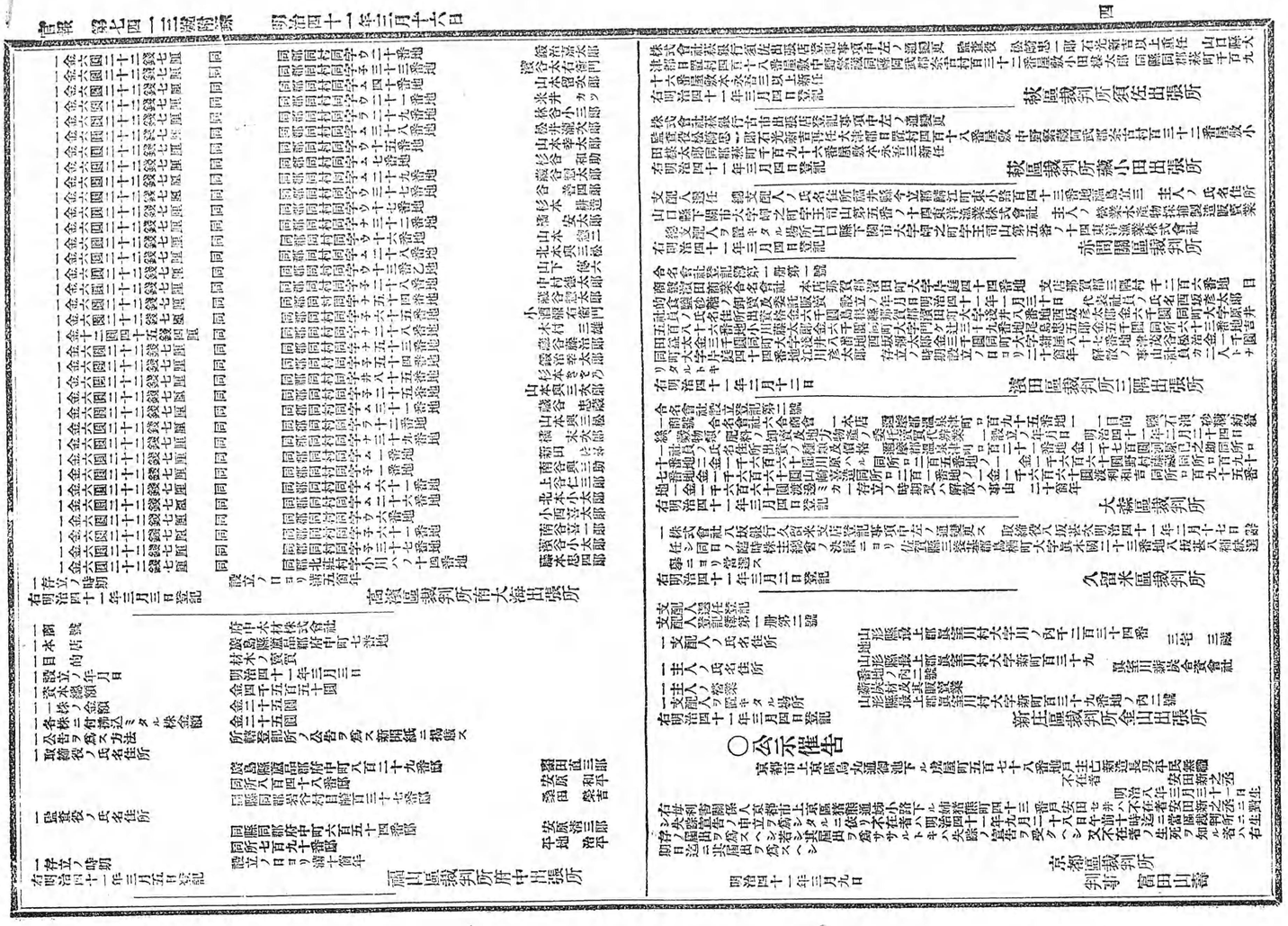
京越石油株式會社登記事項中左ノ如ク追加ス
一滿算結了ノ年月日　明治四十一年二月二十八日
右明治四十一年三月五日登記
會資會社資屋石油商會登記事項中左ノ如ク追加ス
一滿算結了ノ年月日　明治四十一年三月一日
右明治四十一年三月六日登記　長岡區裁判所

旭石油株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一滿算人小坂松五郎ハ明治三十五年七月十一日死亡
同會社登記事項中左ノ如ク追加ス
一滿算結了ノ年月日　明治四十一年三月一日
右明治四十一年三月五日登記　柏崎區裁判所

合名會社中井商店登記事項中變更　代表社員　中井三之助、鵜飼勝輔、谷野彌吉、鵜飼百之助ハ滿期重任
株資生命保險株式會社登記事項中變更　監査役若松幾遺、原富太郎、澁澤作太郎ハ滿期重任
右明治四十一年三月五日登記
森田染料製合資會社解散登記公告事項中解散スノ下ニ清算人ノ三字ヲ脫ス　京都區裁判所

合資會社登記
合資會社中山商店
京都府天田郡福知山町字西四番地
貸繰房物賄類ノ賣買委托賣買取扱ヲ爲スヲ以テス
明治四十一年二月二十五日
京都府天田郡福知山町字西四番地　中山鹿治郎
同所　中山增二郎
同府加佐郡河東村字千原　中岡喜太郎
滋賀縣坂田郡法性寺村字舘　小川定治郎
長康縣朝來郡梁瀨村字矢名瀨町　中村作之助
明治四十一年二月二十五日ヨリ滿十箇年
福知山區裁判所

第7413号　付録



第 7413 号　付録